

1	create	を創り出す	creには「作る」という語源があり、何かを生み出すという意味がある。 ヒロアカ八百万さんのヒーロー名は「クリエティ」 で、何かを創造するヒーローだ。ちなみに名詞系の「creature」はなぜ生き物という意味かというと、 昔すべての生き物は神が「創り出した」 と考えられていたから。
2	increase	増加する	in「～の中に」cre「作る」という語源を持つ。語源通り訳すと「～の中に作る」だ。なにかの内側で作りまくってどんどん大きくなっていく様子から、増加するという意味になった。上の create「創造する」と同じ語源を持つ。
3	improve	を向上させる	im「中に」、prou「利益」という語源を持つ。語源通りに訳すと「中に利益をいれる」だ。語源のように「会社や財布の中に利益を生む」というような、あくまでお金を生むことという使われ方をしていた。そこからお金だけでなく、精神的・技術的にも利益を生む(上手になること)ことを improve「向上させる」と言うようになった。Proud(利益を生むような価値をもつことから、誇りに思う)、プライド(自分に価値という意味から、自尊心)と同じ語源を持つ。
4	mean	を意味する	マジでおすすめ語呂あり。「meanは意味一んする」と唱えれば覚えられる。
5	own	を所有している	プレイする人のことをプレイヤー、レースする人をレーサーと言うように、 ownする人をownerにしてみる。すると日本語でもよく使う 「(車などの)オーナー、所有者」 という意味になる。だから ownは所有することである。
6	include	を含む	in「中に」、clude「閉じる」という語源を持つ。語源通り訳すと「中に閉じる」という意味になる。これは、「何かを中に入れて封をする」という意味で、言い換えれば「何かを含んでいる状態」である。 close 「閉じる」、 exclude (外に締め出すから除外する)、 conclude 「議論を閉幕して結論づける」と同じ語源を持つ。
7	consider	を見なす	con「強調」、sid「星」と同じ語源を持つ。天文学者のように徹底的に星をよく観察して考えるという由来で、「考える」という意味になった。「見なす」になった理由は、何かと何かを同じだと「考える」という使われ方から生まれたものだ。(「見なす」の用法は「考える」に比べればビビるほど出ない。)
8	allow	を許す	a「～の方向へ」、lau「与える」同じ語源を持つ。何かの方向に、権利やものを与えると言う意味である。例えば、所有権や独占権などを与えられると言うことは言い換えれば、そのものを好きに使っても良いと言う「許可」を示すことになる。そのような使われ方をした結果「許可・許すこと」という意味になった。正直に言うと、この語源を覚えても他の単語をまとめて覚えられるわけでもない。申し訳ないが、「洗うことを許す」というシンプルな語呂で乗り切るか、回数を重ねて覚えてほしい。。。。
9	suggest	を提案する	suは「～の下に」、gestは「伝える」という語源を持つ。人の意識「下」に、考えを「伝える」という意味を持つ。ちなみに日本語の ジェスチャー (身振りで伝えること)と同語源。
10	produce	を生産する	pro「前へ」、duce「導く」という語源をもつ。語源通りに訳すと「前へ導く」という意味になる。新しいものをみんなの前へ導き出してあげることとなり、「作る、生産する」という意味になった。日本語でよく使う 「プロデューサー」 も同じ語源を持っている。アイドルや芸人を発掘し「みんなの前へ導いてあげる」ことが役目だからだ。
11	decide	を決める	de「離す」、cide「切る」という語源を持つ。語源通りに訳すと、「切り離す」という意味になる。頭の中でダラダラ引き伸ばしている悩みや考えを、バツンと断ち切るという意味合いで「決める」という意味になった。これはまさに「決断」という漢字の「断つ」と一緒である。 scissor(はさみ) 、 suicide(自分を切ること、すなわち自殺) と同じ語源を持つ。
12	offer	を提供する	o「近く」、fer「運ぶ」という語源を持つ。語源通りに訳すと、「近くに運ぶ」という意味になる。ものを近くまで運んできて、相手に渡すと言う語源から「提供する(あげる)」という意味になった。日本語でも、芸能人の番組出演の 「オファー」 という使われ方をする。このオファーは、出演日やギャラなどが書かれた提案書だ。 prefer 「ものを選び好みして」前へ運ぶことから、好む)、 transfer 「移動して運ぶことから、移る」と同じ語源を持つ。
13	require	を要求する	re「再び」、qui「求める」という語源を持つ。語源通り訳すと「何度も求める」と言う意味だ。何かが必要だから、「何度も」訪ね「求めて」くる様子から要求すると言う意味になった。 question 「答えを求めること、すなわち質問」、 ドラゴンクエストの quest 「探し求める、冒険」、 リクエスト 「何度も求めることから、頼む」と同じ語源を持つ。
14	share	を共有する	Line、Twitter、Instagramの機能で 「シェアする」 (共有する)という表示がよく出ている。あのシェアである。マックでポテトをシェアしたり、袋のお菓子をシェアしたりする。あのシェアである。
15	store	を保存する	今日本語で使われている 「ストア」 と同じ語源である。「ドラッグストア」などから察するに、日本語だと商品や日用品等を「販売する」というニュアンスが強い。しかし、もともと 14世紀では食料や日用品を「保存・保管している」場所という意味であった。この由来から、イギリスでは軍の食糧備蓄などを「ストア」と呼んでいる。そこから英語がアメリカに渡る。そこでは、保管している物品を欲しい人がよくストアに訪れた。このような経緯で「保管物を金銭で取引できる場所」という意味の「ストア」が 1660年代にアメリカで最初に観測された。現在日本で使われている「ストア」も、このアメリカの用法に習っている。
16	tend	傾向がある	ten「(体を)伸ばす」を語源にもつ。何かを求めて手を伸ばしがちになっている様子から、「～する傾向がある、～しがち」という意味になった。何かを求めて横に手を伸ばすと、少しだけ前に体重が移動して体が傾くだろう。その傾くという漢字は、傾向の傾にも使われている。行動や様子が、ある状態に傾く。そのような「傾向を持っている」のだ。(説明が難しい)日本語で言う 「テンション」 (普段弛緩している心の線がピンと伸びていて、興奮している状態)、 「テント」 (骨組みを伸ばして立てる小屋)などと同じ語源を持つ。
17	concern	〔受身形で〕心配している	con「共に」、cer「ふるいにかける」という語源を持つ。語源をそのまま訳すと「一緒にふるいにかける」という意味になる。15世紀初頭では「(ふるいにかけられて残った)重要なもの」という意味を持っていた。原義は「重要なもの」である。この語源をベースに 17世紀から、「重要なものであるから、なくなることを「心配させられる」という意味に変わった。「 シークレット 」(ふるいにかけられて残った、重要な秘め事)と同じ語源を持つ。
18	describe	について述べる	de「下に」、scribe「書く」という語源を持つ。語源通り訳すと「書き下す」という意味だ。言いたいことを紙にガガーッと書くこと、つまり「説明を書くこと」がもともとの原義だった。いつしか、口頭で説明することにも describeが使われるようになった。日本語で言う 「サプスクリプション」 (定期購読をするサインを書いて、月払いのサービスを受けること)、 「スクリプト」 (書かれた台本)と同じ語源を持つ。
19	involve	を関与させる	in「中に」、vol「巻く」という語源を持つ。語源通りに訳すと、「中に巻き込む」ことである。何かの事件や事故に巻き込む、つまり「関与させること」を意味する。日本語の 「リボルバー拳銃」 (ぐるぐると回転して球を装填する仕組みの銃)、 ボルト (ネジをぐるぐる巻くための部品) Evolve(巻いているもの展開するという意味から、進化する)と同じ語源を持つ。
20	reduce	を減らす	小学生の時に、「ゴミ問題を解決するために私たちがができること」として、3 R運動というものがあった。Reuse(リユース)、Reduce(リデュース)、Recycle(リサイクル)だ。この リデュース (ごみを減らす)。
21	design	を設計する	洋服などを 「デザイン」 する」と表現する。洋服の長さや色を設計しているのだ。
22	force	に強い	fort「強い」という語源をもつ。日本語ではフォースのことを「力」と表現する。この意味は 13世紀に生まれた意味だ。それから100年経ち、「強い力を用いて人に何かをさせること」という意味が 14世紀に生まれた。この意味が「(人)～に強い」という日本語語になってきているのだ。 confort 「共に心を強くすること、すなわち慰める」と同じ語源を持つ。
23	limit	を制限する	「タイムリミット」 (時間制限)のリミットである。

24	bear	に耐える	bher「運ぶ」を語源に持つ。重荷を運ぶ様子から、「耐える」という意味になった。 ちなみに「bear(に耐える)」と「birth(誕生)」は同語源 である。 ハッピーバースデーのバース だ。 「命を運ぶ」というニュアンスから、「誕生」という意味で使われるようになった。
25	affect	に影響を及ぼす	a「～の方向へ」、fect「作る、行う」という語源を持つ。語源通りに訳すと、「何かの方向へ行う」という意味だ。「何かに対して働きかけるもの」なので、「(何かに対して)影響を及ぼす」という日本語訳がついた。名詞形の「affection」には愛情という日本語訳がついてるが、語源を見れば簡単に理解できる。これは「母親が、子供に対して働きかける」という様子から「愛情」という意味になったのだ。
26	deal	(deal withで)を処理する	deal「分ける」を語源に持つ。手際よく仕分ける様子から、「処理する」という意味が 15世紀半ばに生まれた。 カジノの「ディーラー」 (カードやお金を切り分けて配る様子から)と同じ語源を持つ。
27	avoid	を避ける	a「外に」、voi「空っぽ」という語源を持つ。語源は、「満たされていたものを外に出し、空っぽにする」という意味を持っている。何を空っぽにするかと言うと、空間である。素早く移動すると、もともといた空間が空くだろう。このように、もともといた空間を素早く空にすることで、当たりそうなものから回避することができる。このような理屈で、避けるという意味になった。 vacation(空白の期間、つまり休暇)、vacant(空いている)、バキューム「真空」と同じ語源を持つ。
28	relate	を関連づける	有用な語源なし。「リレイト関連付け」と唱えて覚えてほしい
29	realize	に気づく	real「リアル、現実」、ize「～にする」という語源を持つ。語源通り訳すと、「現実にする」という意味だ。夢のようなものを現実にする様子から「実現する」という意味になった。さらに、現実のものとして認識することから「気づく」という意味になった。夢のようなものであったものを、「リアルに」したのだ。 Real「リアル」は日本語でも使う。
30	encourage	を奨励する	「奨励する」とは、「良いこととして、それをするように人々に勧めること」だ。語源を見てみると、en「～を入れる」、courage「勇気」である。語源通り訳すと、「勇気を入れる」だ。誰か他の人に勇気を入れる様子から、「奨励する」という意味になった。 ちなみに courage「勇気」の語源は core「核、心臓」 である。「心臓から湧き出てくるもの」という由来で「勇気」という意味になった。
31	compare	を比較する	com「共に」、par「等しい」という語源を持つ。語源通り訳すと「共に等しい」という意味で、「同等なものの同士を比べる」という由来から「比較する」という意味になった。 2人ペアの「ペア」、Bluetoothの「ペアリング」と同じ語源を持つ。
32	measure	を測る	ものの長さを測る「メジャー」 だ。
33	exist	存在する	ex「外に」、sisto「立つ」が組み合わさって「見える場所にある」つまりそこに存在するという意味になる。 stand「立つ」、stick「地面に立つように、刺さるもの・スティック」と同じ語源を持つ。
34	mark	に印をつける	日本語の「マーク(印)」と同じ である。
35	challenge	に異議を唱える	日本語の「チャレンジ」「挑戦する」と同義語としても使われる。相手の言論に対して挑戦する様子から「異議を唱える」という意味にもなる。 パレーとかテニスで疑惑の判定が出た時に「チャレンジ」してビデオ判定を見れる。
36	depend	頼る	de「下」+ pend「ひっかけて吊るす」という語源を持つ。誰かにぶらさがっている状態という意味から「頼る」という意味になった。 この「pend」は、「ペンダント」にも使われている。
37	object	反対する	ob「前に」、ject「投げる」という語源を持つ。目の前に投げ込まれたもの(存在するもの)と言う意味で、「目の前にあるもの」と言うのがコアの原義だ。「目の前にあるもの」という意味から、目の前に存在する物体、目的、対象という解釈が生まれていった。「反対する」という意味になったのは何かに挑戦しようとした時、目の前に「反対意見」が投げ込まれたからである。
38	demand	を要求する	de「離れる」、mand「命じる」という語源を持つ。語源は離れることを命じるという意味で、「そのものを手放して離れ、こちらに引き渡せ」という意から「要求する」となった。
39	found	を設立する	語源から覚えようとしてもいまいピンとこないので、ファウンド設立と唱えて覚えてほしい・
40	complete	を完成させる	com「ともに」、ple「満たす」という語源を持つ。複数の要件をすべて満たし、完成させることである。日本語でも「図鑑を コンプリート する(完成させる)」と表現する。
41	idea	考え	日本語でもよく使う「いいアイデア(考え)ありませんか?」の、 「アイデア」 である。
42	accord	一致	a「～の方向へ」、cord「心」という語源を持つ。語源通り訳すると「心の方向へ」という意味になる。みんなで心を1つにして意見を「一致させる」という由来を持っている。 Core(核心、中心)と同じ語源を持つ。
43	company	会社	com「一緒に」、panis「パン」で構成されている。 「一緒にパンを食べる仲間」 という意味から、「会社」という意味になった。
44	interest	興味	語源的にいまい解釈しにくい単語。ピンタレストという超有名な画像検索アプリがある。これは、 写真をお気に入りする「ピン留め」するための「 pin」と、興味を表すインタレスト「 interest」を組み合わせて「pinterest」というアプリ名になった。
45	research	研究、調査	re「徹底的に、繰り返し」、search「探す」が語源。徹底的に探す様子から「研究、調査」という意味になる。日本語でも「文献をリサーチする、Webでリサーチする」というふうにする。
46	cause	原因	becauseの「cause」だ。 becauseは理由・原因を言う前に使う。
47	reason	理由	「リーズナブル」の元の単語である。「リーズナブル」は、値段に対して商品の質が良いことを示す。つまり、値段が相応であり、論理的に理解できるということだ。 リーズナブルは reason「理由」、able「できる」という語源を持っていて、理由がわかるという意味を持っているのだ。
48	effect	影響	e「外に」、fect「作る、行う」という語源を持つ。語源通りに訳すと「外に作り出した」という意味だ。外に作り出したものが何から形で見えるようになったものが「影響」である。(たとえば排気ガスなどを外に出すと、大気汚染やPM2.5などの目に見える形(影響)になる。) factory「モノを作り出す場所、つまり工場」と同じ語源を持つ。
49	influence	影響(力)	in「中に」、flu「流れる」を語源に持つ。 語源通り訳すと「中に流れる」という意味だ。 人の心の中に、流れるように言葉や信念が入ってきて、その言葉の影響を受ける様子から「影響」という意味になった。ちなみに、 インフルエンザ も「急速に体の中に流れ込んできて症状が出る様子」が由来になっている。 インフルエンサー とは、人の心の中に流れるように言葉を出せる、影響力のある人のことである。
50	situation	状況	日本語でも、状況のことを「 シチュエーション 」という。
51	environment	環境	エンヴァイロメントと読む。有用な語源なし。つづりはエンヴィロと書き、強烈に独特なので「エンヴィロ環境」と唱えて覚えてほしい。
52	skill	技能	ゲーム内で使う技のことを「 スキル 」というように、何かしらの技能・技術のことをスキルという。
53	matter	事柄、問題	mother「母」を語源に持つ。 みなさんの想像するようなお母さんという意味ではなく、もっとスケールの大きい「万物の母」という意味合いだ。 すべての土台にあるものという意味から、「事柄」「問題」という意味が生まれた。 material「万物の母」という意味から、物質」と同じ語源を持つ。

54	view	見解	見ること。 オーシャンビュー のviewと同じである。ぱっと見て考えたことという由来で「見解」という意味になった。
55	value	価値	日本語でも、 マックスバリュ ー「最大の価値を提供する、という社訓から命名されたスーパー」、 ネームバリュ ー「大学などの肩書き的な価値」などに使われている。
56	species	(生物の)種	spec「見る」という語源を持つ。「 見た目 」が 同じようなもの という意味で、「生物の種」という意味になった。 suspect (相手の足元を見ることから、疑う) respect (二度見することから、尊敬する)と同じ語源を持つ。
57	thought	考え	thinkの名詞形 。thank「感謝」と同じ語源を持つ。
58	knowledge	知識	know「知る」から生まれた言葉 。(ledgeに関しては由来が曖昧。)知っていることから「知識」という意味になった。
59	memory	記憶(力)	memo「覚える」という語源をもつ。「覚えていること」は、言い換えれば記憶のことである。 remember 「再び覚えることから、思い出す」、 memorial(メモリアル) 「後で思い出せるようにする、記念物」と同じ語源を持つ。 メモリースティック (データを記憶するちっちゃい棒)、スマホの メモリー 容量」など、日本語でも何かを記憶させる時に使う。
60	practice	実践、練習	「やること、やってみること」というコアの意味を持つ。やることだから、「実践する」。やってみることだから、「練習する」という意味がある。
61	benefit	利益	bene「良い」という語源を持つ。自分にとって良い行いという語源から利益という意味になった。 Benesseのbeneは、「良く生きる」という社訓が由来になっている。
62	theory	理論	日本語で使用されるセオリーと同じである。
63	issue	問題(点)	有用な語源なし。めちゃくちゃいい語呂がある。「 異臭(issue)問題 」と唱えてくれ。
64	experiment	実験	有用な語源がない。experience「経験」というクソ似たような単語があるので区別しながら覚えていく。語末の「ment」はメントスコアのメントスであり、プシャーっと実験的にやってみることだ。メントスではない方が、経験である。
65	article	記事	ar「人の手を加える」という語源をもつ。人の手で束ねて作られることから「記事」という意味になった。(そんなもん、なんだってとも言えると思うが...) ar「人の手を加えることから、美術」が入っている言葉だ。
66	focus	焦点	日本語で使用されるフォーカスと同じ意味である。 物理では焦点を「F」で表現する。
67	subject	話題	sub「下に」、ject「投げる」が語源。何かの支配下に投げ置かれるということから「主語」(動詞の支配下にある)や「話題」(会話の支配下にある)という意味を持つ。inject「中に投げることから、注射する」、object「目の前に投げ置かれることから、物体」と同じ語源を持つ。
68	project	計画	日本語のプロジェクトと同じ。
69	quality	質	日本語でも、「 クオリティ が高い」「 ハイクオリティ 」などという。
70	role	役割	ro「回転する」を語源に持つ。当時、役者の台本は筒状にぐるぐる巻にされていた。その中に自分の「役割」について書いてあったことが由来である。日本語でも、ドラクエや FFなどの「 ロールプレイングゲーム 」(勇者の役割になりきる)などというふうに、知らず知らずのうちに使っている。
71	term	(専門)用語	termのコアの意味は「 終わり 」だ。 terminal(ターミナル) は電車などの終点を意味する。 ターミネーター (terminator)は終わらせる者という意味。また、言葉の定義(言葉の最終的な意味)という由来から「用語」という意味もある。
72	statement	声明	state「述べる、位置」語源。述べること、つまり声明だ。 status(社会的な位置、ステータス) 、 state(宣言されて樹立することから、州) と同じ語源を持つ。
73	material	材料	mather「母」を語源に持つ。万物の母という由来から「材料」という意味になった。
74	evidence	証拠	e「外に」、vide「見る」と同じ語源を持つ。外から部屋の中がはっきり見えてしまっているように、明白である様子を指している。そのように、真偽が疑わしい意見や事件をはっきりと明白にするものは、証拠である。 video「見るものなので、ビデオ」、visit「見に行くことから、訪れる」と同じ語源を持つ。
75	source	(～の)源	sour「上に」という語源を持つ。「上に向かって噴き出してくるもの」という意味だ。油田や水源のように、上に噴き出ている様子から「源」という意味になった。日本語でも、 ある情報の情報源を確かめるときに「ソースは？」と聞く 。resource「吹き出て集まったものという意味から、資源」、surface「上の面という意味から、表面」と同じ語源を持つ。
76	community	(共同)社会	日本語でも「 コミュニティ 」(共同体)と言う意味で使用されている。要は、同じ信念や価値観を持った人同士が集まっているグループである。
77	technology	科学技術	日本語での テクノロジー と同義語。tech(技術)、logia(知識)が語源である。
78	culture	文化	日本語でも、 カルチャーショック 「共同体の文化の違いに驚くこと」に使われている。cul「耕す」という語源を持つ。田畑を耕して文明が生まれたことから「文化」という意味になった。cultivate(耕す、養う)と同じ語源である。
79	appropriate	(～に)適切な	ad「～へ」、proper「適した」という語源を持つ。語源通りで、「適した」という意味だ。484.proper「適切な」という単語が、そのまま入っている。コンピュータに内蔵されたいろいろな情報の中で、そのファイルにぴったり合う(付随した)情報を、 プロパティ と呼ぶ。このプロパティは同語源。
80	likely	ありそうな	like「のような」を語源にもつ。「なんか起こるようだな、なんかしそうだな」というときに使う。
81	possible	可能な	映画ミッションインポッシブル は、mission(任務)、im(～でない)、possible(可能)という語で構成されている。不可能と思われる任務を遂行する映画である。
82	individual	個々の	in「否定」、divi「分ける」という語源を持つ。語源通りに訳すと、「分けられない」である。社会の中では、たくさんのグループ分けが存在する。学校、地域、家族など、いろいろな単位で人間を分けることができる。そうやって分け続けて行った結果、「 それ以上分けることができない」という意味で「個人」になった。divide「分ける」と同じ語源を持つ。
83	public	公の	publi「公の」という語源を持つ。語源そのままの意味だ。 パブ というお酒を飲むところがある。これは「パブリックハウス(公の家)」の略で、人々が飲んで集まる公共の場所という意味がある。他にも「 PR活動 」というのは「パブリックリレーションズ(公の関係)」という意味で、企業を公にする活動のことである。
84	common	共通の	コミュ系の単語だ。コミュ系は主に「人と共に何かをする単語」である。例えばコミュニケーションは「人と共に話す」、コミュニティは「人が共に集まる」などと同じように、コモンは「人と共に持つ」ことを指している。他の人と共に、共通して持っているものという意味だ。ちなみにデュエル・マスターズのカードで、 最も低いレア度のことを「コモン」 という。これは全てのカードが共通して持っている程度の、一般的なレア度という意味だ。
85	certain	確信して	cert「分ける、ふるいにかける」という語源を持つ。「分けることは分かること」という格言があるように、物事を分けて理解することは学習において重要である。そのように分けて分けて考えた結果、確信を持てるようになることに由来して「確信して」という意味になった。concern「分けて分けて考えることから、よく考える」と同じ語源をもつ。
86	similar	似ている	sim「同じ」という語源を持つ。語源そのままで、「まるで同じものかのように似ている」という意味だ。 same「同じ」、シミュレーション「同じように真似すること」と同じ語源を持つ。

87	recent	最近の	有用な語源なし。リセント最近と、何度も唱えて覚えてくれ！！ ma「大きい」、ior「～より」という語源を持つ。語源通りに訳すと「～より大きい」という意味になる。1つのグループの中で「他よりも大きな割合を占める」という点から、主要なという意味になった。「専攻する」という意味もあるが、これも同じ道理である。つまり「他の科目よりも、専攻する科目の方が、時間や労力的に大きな割合を占める」という意味である。 曲名「サイレントマジョリティー」 とは静かな多数派(他よりも大きな割合を占める人々)という意味だ。、 マグニチュード (地震の大きさ)と同じ語源を持つ。
88	major	主要な	pati「受ける、苦痛などを受ける」という語源を持つ。苦痛を受けながらも耐え凌ぐという意味で、「忍耐強い」という言葉になった。 passion 「刺激を受けて動く感情、つまり情熱」、 passive 「受け身の」と同じ語源を持つ。
89	patient	忍耐強い	
90	particular	特定の	part「部分」、cula「小さい」という意味がある。全体の内の小さな部分、すなわち特定のことを指す。
91	physical	身体の	「フィジカルを鍛える」 のフィジカルだ。
92	various	さまざまな	variety(バラエティ)の形容詞。varietyは日本語でもバラエティーとして浸透している。 「バラエティー番組」 は音楽やトークや映像などの娯楽を組み合わせた番組という意味だ。
93	available	使える、手に入る	avail「価値がある、役立つ」、able「できる」という語源を持つ。価値があるという意味から「役に立つ、使える」という意味になった。 prevail 「価値があるから広まってくことから、広まる」、 evaluate 「価値を決めることから、評価する」と同じ語源をもつ。
94	native	出生地の	英語を出身地(出生地)で使っていた人のことを「ネイティブ」という。
95	political	政治(上)の	polit「市民の」という語源を持つ。市民による市民のためのものという由来から「政治の」と言う意味になった。 実は「police」も、市民の為のものという由来から「警察」という意味になった。
96	due	予定された	deb「義務を負う」という語源をもつ。「義務を負う」とは、「当然そうあるべき」と言い換えられる。期日や料金などの、「当たり前」に守ると期待しているもの」という由来から「(そう)予定された」という意味になった。 duty 「語源そのまま、義務」、 debt 「当然支払う義務を負うもの、つまり借金」という語源を持つ。
97	blank	空白の	bla「白、輝く」という語源を持つ。真っ白で何も書かれていない様子から、「空白の」という意味になった。日本語でもスポーツの休み期間が長かった時などに「 ブランクがある 」(練習しなかった空白の期間がある)」と表現する。 「フリーチ」 (髪の毛の漂白剤。色を入れる前に一旦髪の毛の色を白っぽくする)、「 フレイム 」(炎。ギラギラと輝くことから)と同じ語源を持つ。
98	ancient	古代の	ant「反対の」が含まれている。ある人を批判する人をアンチと呼ぶように、反対することである。 また、現在から見て反対に位置することから「昔の」という意味も持つ。 昔という意味から「古代の」という訳がついた。
99	correct	正しい	実は「OK」の語源は「All correct」の略語である。 は？じゃあOKじゃなくてOCだろと思うだろう。この理由は諸説あるが、アメリカ7代大統領アンドリュー・ジャクソンが間違えて「All Korrekt」とスペルミスをした説が有力だ。
100	despite	～にもかかわらず	有用な語源なし。受験時代は「ディスパイトにも関わらず」と唱えて覚えた。
101	notice	に気づく	語源はknow「知る」である。「k」は長い年月を重ねて消えた。 note「ノート」と同じ語源を持つ。
102	refer	言及する	re「再び」、fero「運ぶ」が語源である。(要リサーチ)
103	approach	に近づく	日本語でも、 好きな人に近づくことを「アプローチする」という。
104	wonder	かなと思う	thinkはじっくり考え込むことだ。それに対して wonderは、散歩でもして空想に耽りながらふと「～なのかな？」と軽く思うことだ。wun「願う」と言う語源を持つ。びっくりすることが「思う」につながらないため要リサーチ
105	imagine	(を)想像する	「イマジネーション」の動詞形である。 image(イメージ、像)と同じ語源。
106	recognize	を識別できる	re「再び」、cog「知る」という語源で成り立っている。語源通りに訳すと、「再び知る」という意味になる。1度目は会った時には顔を知り、2度目にあったときには顔を覚えているので、その人を「識別できる(他の人とは違うと判断できる)」という意味だ。Ignore(無視する) Cognitive(認知の)と同じ語源を持つ。(残念ながらこのcogに関しては良い覚えかたが無い……。すまない…)
107	solve	を解く	solv「解く」を語源としている。問題や数式を解く、つまり物事を解決するという意味がある。 dissolve「物事を液状に分解するから、溶かす」と同じ語源を持つ。
108	occur	起こる	ob(oc)「に対して」、cur「走る、実行する」が語源。
109	argue	と主張する	arg「明白にする、明るい」という語源を持つ。自分の意見を明白に相手に伝えることから「主張する」と言う意味になった。 元素記号「Ag(銀)」も同じ語源を持っていて、光って明るいことが由来。ちなみに「Argentina(アルゼンチン)」の由来は「銀のとれる国」という意味で、語源「arg」を持つ。
110	claim	と主張する	claim「叫ぶ」という語源を持つ。大きな声で権利や要求を、叫びながら主張するという意味である。 「クレーム」と同じ意味である。
111	express	を表す	語源はex「外へ」、press「押し出す、プレスする」であり、考えを押し出す様子から、「表す」という意味になった。 また、車体を強く押し出す様子から「エクスプレス」(特急)という意味もある。
112	draw	を引き出す	カードゲームの「ドロー」は、山札からカードを引き出す行為 である。
113	waste	を浪費する	wastef「破壊する」という語源を持つ。何かを破壊して無駄にしてしまうことから、「無駄にする、(無駄にするために)浪費する」という意味になった。中学では wastefは「ゴミ」と習う。「ゴミにする、つまり、何かを無駄にする」のだ。後の単語になるが devastate「破壊された様子から、荒廃した」と同じ語源を持つ。
114	advance	を進歩させる	日本語でも ゲームボーイアドバンス (昔のゲーム機)、ポケモンアドバンスジェネレーションなどと使う。
115	spread	を広める	スプレー(広範囲に噴霧する)と同じ語源を持つ。
116	prepare	を準備する	pre「事前に」、pare「準備する、すること」が語源。preが付く単語は基本的に何かの前をすることを表している。準備は事前をすること、prepareは準備するとなる。
117	gain	を獲得する	「get」とほぼ同じである。 gainの方が「努力して得たもの」というニュアンスがある。
118	achieve	を達成する	a「～の方に」、chi「頭」という語源を持つ。語源通りに訳すと「頭の方に行く」と言う意味だ。物事のでっぺんに登る、つまり成し遂げる、達成すると言う意味である。cap「頭にかぶるキャップ」、chef(シェフ)「調理場のでっぺんの人、つまり長」と同じ語源を持つ。
119	establish	を確立する	establishの中にstabl(e)「安定した」という語が含まれる。しっかりと安定した状態を作る、確立するとなる。またestablishの「e」に意味はない。
120	supply	を供給する	su「下に」、ply「満たす」という語源を持つ。工場や軍部などの立場が上の方から、下の民衆に向けて物資を送り、満たしてあげるという由来がある。コンプリートと同じ語源を持つ。
121	suppose	と思う	su(b)「下に」、pose「置く、見る」という意味が語源。(要リサーチ)
122	perform	(を)行う	「パフォーマンス」の動詞形。

語源オタクのりきまるです。
この度はダウンロードありがとうございました。

面白いですか？語源リスト。
このリストを「面白い」と思ってくれる方、おめでとうございます。
あなたには語源オタクの素質があります。

僕は今年で25歳。
そしてあなたはおそらく、高校生くらいかと思います。

ずりい！

僕はもっと、早く語源に出会いたかった。出会うのが遅すぎた。
語源がこんなに面白いなんて、思ってもいなかったです。

僕も高校生くらいで知っておけば、
もっと人生楽しかったやろうなと、本当に思います。

僕が初めて語源に魅了されたのは、大学1年生の時でした。

当時、中央大学に通っていた僕は完全に遊びほうけており、
バンドサークルを掛け持ちし、旅行サークルで飲みまくり、授業はサボってサークルの会室でスマブラ
するという、かなりの「優等生」でした。

夜11時くらいまで会室で皆とマリカして、スマブラして、ボードゲームして、高幡不動に皆でラーメン食
べに行って、コンビニでお酒買って、公園で飲んで、終電で帰る。

早い話、終わっていました。
典型的な私立文系大学生です。

そんなとき、転機が訪れます。

ある日のお昼、おにぎりを買いに生協(売店)に行きました。
そこに、ある新書が平積みになってたんですね。それがこれ。↓↓



語源×図解 くらべて覚える英単語 (青春新書INTELLIGENCE 620) 新

書 - 2021/5/7

清水 健二 (著)

3.8 ★★★★★ (65)

[すべてのフォーマットとエディションを見る](#)

お買い物でポイントがたまります。 [詳細はこちら。](#)

くらべて覚えているだけで、丸暗記するより簡単に記憶が定着する!シリーズ90万部突破『英単語の語源図鑑』著者の『朝日ウィークリー』好評連載を初の新書化!初級から中級まで厳選253単語を収録。楽しく使い分けが学べるクイズ付き【イラスト『英単語の語源図鑑』のすずきひろし】

[この商品に関する問題を報告する](#)

本の長さ	言語	出版社	発売日	ISBN-10
269ページ	日本語	青春出版社	2021/5/7	441304620X

[すべての詳細を表示](#)

New on Amazon:

新作や限定作品が
毎日更新中

New on Amazon

新書の新刊、すべてここに
今すぐチェック

「語源か一なんか聞いたことはあるけど、あんま知らんなあ。
でも表紙は面白そうやし、ちょっと読んでみるか。」

この何気なく読み始めた本で、僕は人生が変わりました。

「は！？**confirm**の語源ってこれやったんかよ！」
「嘘やろ！？**fer**系の単語は『フェリー』と語源同じ！？」

あまりの衝撃に、心の中で、叫びまくっていました。

というか、(えっ！)とか(嘘やろ！)とか小声で漏れまくっていました。

僕はページをめくる手が止まらず、止まらず、、止まらず、、
ついに。
立ち読みだけで、全部読み上げてしまいました。

気づけば夕方の**5時**。

「お昼ご飯買いに来たのに・・・。」

3限目、4限目の授業も出席し忘れ。お一まいグッネス。

本を閉じて、静かに生協を出ました。

「ヤバいものを読んでしまった・・・。」

僕は放心状態でした。

しばらく噴水前のベンチから動けませんでした。
これはすごい。

まじですごい。おもしろすぎる。語源ヤバすぎる。
うわあ内容あんまり思い出せないけど超面白かった・・・。
なんだよあれ反則じゃん面白すぎる・・・。

青い空、広大な緑、白いキャンパス、透き通った風。

いま、ワクワクが止まらない。なんでもできそうな気がしてくる。
なんで俺は、もっと早く語源の面白さに気づけなかったんだ！！

やっべえ勉強したい！！

アホみたいに、今、語源勉強したい！
てか英語勉強したい！

その日からというものの僕は、狂ったように英単語の研究をしていました。

まず文学部の英語系の授業を、片っ端から履修しました。
(僕は総合政策学部でしたが、他学部履修制度を使って文学部の授業も受けてました。)

英単語を最速で暗記できるゲーム欲しいなと思い、
必死こいてプログラミングも勉強。

2021年、大学2年生で英単語クイズバトルゲームアプリ「はやおしたんご」を**Android**にてリリース。



このあたりから、大学の友達とは少しずつ疎遠になってきます。

2022年、コロナ過で時間ができたのもあり、「ターゲット1900語源リサーチプロジェクト」を発足。



りきりんご

★★★★★ (9件のレビュー) ◎ 本人確認未提出 ◎ 発注ルールチェック未回答

仕事の概要

固定報酬制	100,000円 ~ 300,000円
納品希望日	-
掲載日	2022年04月11日
応募期限	2022年04月24日

(↑ クラウドワークスにて募集をかけていた様子)

大学の友達に加え、早稲田・東大のOBを雇い、ターゲット**1900**の語源をひったすら調べて埋めていました。

1900個の語源リサーチは超大変でしたし、人を雇うのにも金がかかりました泣。
ウーバー配達で貯めた**20万円**をオールインし、語源リサーチに充てました。

この**1900**語源リストは**1年**かけて完成し、今も僕のエクセルに入っています。
考えうる限り、最高の語源リストです。今でも見返し、にやにやが止まりません。

お金も時間も膨大に費やしましたが、後悔などあろうはずがありません。

—————
そんなこんなであっという間に、大学を卒業しました。
ああ、有意義だったな、楽しかったなあ…。語源に出会えてよかった…。

それから就職し、2~3年働き、今に至ります。
しばらくはWebライティングの仕事に熱中しており、英語のことも頭から離れていたのですが、、
が、、

最近、また「語源熱」が再燃し始めてきてまして。。。笑
やっぱり面白いんですよ…。語源。

んでやっぱり、僕一人で語源をニヤニヤ調べて楽しんでいても、大学生活と一緒にじゃないですか。
やっぱり、新しいことに挑戦したいじゃないですか。

ということで、
この語源の知識を発信することにしました！！
語源の面白さを伝えるんです。

やっぱみんな知りたいと思うんですよね。

面白いし。語源。

語源の知識を発信するわけですが、
まだあんまり内容は決まっていません。w

媒体は動画なのか、ブログなのか。
YoutubeなのかインスタなのかTwitterなのか・・・。

ぶっちゃけ、場所はどこでもいいかなと思います。
語源はどこで見ても面白いのでw

まずは、このPDFで語源に興味持ってくれる人を増やすことにしました。

そして願わくば僕の発信で、

初めて語源に出会った時のあの感動、

胸の震え。高鳴り。

ワクワク感。

あの、なんでもできそうな感覚。

あの感覚を、一人でも多くの人に味わってもらえたらいいなと思っています。

123	prefer	のほうを好む	pre「前に」、fer「運ぶ」という語源を持つ。たくさんある選択肢のうち、自分の好きなものだけ持って運ぶ様子から、「～の方を好む」と言う意味になった。 日本語では、船をフェリーと呼ぶ。このフェリーも同じ語源を持っていて、人を運ぶ船という意味である。 Offer「近くに運んで渡すことから、提供する」、differ「普段の場所とは離れた場所に運ぶことから、異なる」と同じ語源をもつ。
124	determine	を決定する	de「～から」、term「終わり」という語源を持つ。語源通り訳すと「～から終わり」になる。「ここからここまでで、もう問題について考えるのは終わり！」と区切りをつける様子から、「判断を下す、決定する」という意味になった。 ターミネーター(terminateor)「(命を)終わらせる者」、ターミナル駅「終わりの駅、終点」と同じ語源を持つ。
125	treat	を扱う	日本語の「 トリートメント 」は、髪を適切な油分を与えてサラサラにするものだ。これは、髪を丁寧に「扱う」ためのものなので「トリートメント」という意味になった。 そのトリートである。
126	prove	を証明する	prov「良い」という語源を持つ。「良いかどうかを検証して確かめる」という由来から、「証明する」という意味になった。approve「良いと思うことから、賛成する」と同じ語源を持つ。
127	apply	を適用[応用]する	a「～の方向へ」、ply「折り重ねる」という語源を持つ。なぜ「～に向かって折重ねる」ことが「ルールなどを適用する」ことになるのかは不明。筆者の推測では、規則というものは実際の行為に重ねて(照らし合わせて)考えるので、規則などを適用するという意味になったとしている。
128	mention	に言及する	mens「心」tion「こと」で心に呼び起こすこと、言葉に心にして心に呼び起こす、言及するとなる。 「メンタル」と同じ語源である。
129	communicate	情報交換をする	コミュニケーションすること。 会話をする、つまり「互いの近況などの情報交換をすること」である。con「共に」、tain「保持する」という語源を持つ。複数のものをひとつの容器の中に保持している様子から「含む」という意味になった。 tennis「ボールをお互いに打ち合って保ちつづける様子から、テニス」、retain「何度も保持する様子から、保つ」と同じ語源を持つ。
130	contain	を含む	con「共に」、tact「触れる」という語源を持つ。語源通り訳すと「共に触れ合う」という意味だ。実際に会って喋って触れ合うように、電話越しやスマホ越しに触れ合うことから「連絡を取る」という意味になった。 タックル「強く触れること」と同じ語源を持つ。
131	contact	と連絡を取る	re「じつと」、gard「見る」が語源。 guard「見張り役、守衛さん」と同じ語源を持っている。
132	regard	を見なす	re「2度」、spect「見る」という語源を持つ。 思わず2度見する様子から「尊敬する」という意味になった。expect「時間軸的に外側を見ることから、予期する」と同じ語源を持つ。
133	respect	を尊敬する	circ「回る」を語源に持つ。「歩き回って何かを見つける」様子から「探す」という意味になった。日本語でも、googleなどの検索する機能のことを「サーチエンジン」という。情報を探す機械という意味だ。 circle(回るという意味から、円)、research(情報を何度も探すという意味から、調査)と同じ語源を持つ。
134	search	探す	co「共に」、nect「つなぐ」という語源を持つ。語源そのまま、「何かと何かをつなげること」だ。 「インターネット」と同語源。 インターネットはinter「間」、ne(c)t「つなぐ」という語源を持っていて、「両者の間をつなぐもの」という意味を持つ。
135	connect	をつなぐ	de「下」、clin「曲げる」という語源を持つ。語源は「下に曲げる」を意味し、折線グラフなどが下に向かって曲げられるように下がっていく様子が由来になっている。 「リクライニングシート」(reclining seat)と同じ語源を持っている。
136	decline	減少する	pre「前に」、vent「来る」が語源。前に来て阻止する、先に止めるという状況からこの語の意味が形成された。
137	prevent	を妨げる	su「下に」、fer「運ぶ」という語源を持つ。語源を通り訳すと「下に運ぶ」と言う意味だ。運んでいるものが重すぎて、体が下へ下へ沈んでいく様子から「苦しむ」という意味になった。 differ「異なる場所へ運ぶことから、異なる」、offer「ある方向へ運ぶことから、提供する」と同じ語源を持つ。
138	suffer	苦しむ	
139	survive	を切り抜けて生き残る	「サバイバル」 だ。日本語でも、「苦難を切り抜けて何日も生き残ること」を指す。
140	publish	を出版する	publi「公の」という語源を持つ。公に出すという意味から「出版する」という意味になった。飲み屋さんの用語で、 パブ というお酒を飲むところがある。これは「パブリックハウス(公の家)」の略で、人々が飲んで集まる公共の場所という意味がある。他にも 「PR活動」 というのは「パブリックリレーションズ(公の関係)」という意味で、企業の広告などを打ち出して公に認めてもらえるようにする活動のことである。
141	opportunity	機会 (課せられた)仕事	o「来る」port「港」という語源をもつ。港にいい風が来て、ちょうど船が出やすいような風向きになることから、「(船を出すのに良い)機会」という意味になった。 airport「飛行場」と同じ語源を持つ。ちなみに国名「ポルトガル」の由来もこれと同じで、「温かい港」という意味だ。ちなみに大型商業施設のらぽーとは、1号店が千葉の海を埋め立てた場所にでき、港のようになったことに由来する。
142	task		日本語でも雑多な仕事のことを 「タスク」 という。
143	industry	産業	industrius「活発な」が語源。活動→経済的な活動→産業。(要リサーチ)
144	medium	(情報伝達の)媒体	medi「中間」という語源を持つ。情報の送信する人と受取る人の間にあるものは twitterやLineなどの媒体(メディア)である。 ステーキの焼き加減であるミディアムは、ちょうど真ん中ぐらいの火加減で焼くことである。
145	economy	経済(状態)	エコノミー。 飛行機のエコノミークラスは、「経済的に優しい」クラスという意味になる。 eco「エコ」は日本では「環境」という意味で浸透しているが、「経済」という意味も含まれる。
146	policy	政策	polis「都市」という語源を持つ。 世界史のポリス(都市国家)と同じ語源。 都市を作るものという由来で「政策」という意味になった。
147	account	説明	我々の知る「アカウント」は主に SNSやネットショップのユーザーを示すものだ。その「アカウント」の意味は、以下のような経緯で生まれた。まずアカウントは、ac「～へ向かって」、count「数える」という語源を持つ。語源通り訳すと「～に向かって数える」という意味だ。「お客さんに向かってお金を数えてあげる」という様子から「銀行の口座、(預けるお金の)説明」という意味になった。そこから何百年か経ち、インターネットが生まれる。そのインターネットが生まれた際、個々のユーザーを識別する言葉が、まだ存在しなかった。そこで「個々の客の口座」を意味するアカウントという言葉が「代用として」使われ始めたのがきっかけで、我々の知る「アカウント」という意味が使われ始めた。
148	trade	貿易	日本語でも 「トレードする(交換、取引する)」「トレーディングカードゲーム(交換、取引するカードゲーム)」などと使用する。
149	model	模範	日本語でも、 みんなのお手本(模範)になるような美貌を持つ人 を「モデル」という。
150	figure	数字	フィギュアは、コアの意味が「 形としてはっきり示すこと 」だ。アニメや漫画キャラクターの「フィギュア」も 同語源 。余談だが、「フィギュアスケート」はもともと採点基準が、「いかに雪上に美しい丸を描けるか」であつた。おそらくこの「丸をはっきりと形にして示す」という由来から、「フィギュア」という言葉を使ったのだ。また、 はっきりとした具体的なもの という由来から「数字」という意味も持つようになった。
151	cell	細胞	ドラゴンボールの強敵「セル」の由来だ。 生物を取り込んで自らの細胞を変化させ、進化していく様子から名付けられた。

152	image	印象	日本語でも使う「 イメージ 」とほぼ同じである。
153	emotion	感情	e「外へ」motion「動き」という語源を持つ。語源通り訳すと、「外へ動く」という意味だ。何が外へ動くかという と、心である。心が内側から外側にぐんと移動し、揺さぶられる様子から「感情」という意味になった。 move 「動くことから、移動する」,「モーション」動きと同じ語源を持つ。
154	stress	ストレス	ストレス。
155	decade	10年間	deka「10」という語源を持ち、「10年」という意味だ。ちなみに、五角形のことをヘキサゴン、六角形のことを ペンタゴンというが、 十角形のことを「デカゴン」と呼ぶ。
156	range	範囲	rang「並べる」という語源を持つ。ドミノのように列を成して並べることが由来で、「並べる」という意味を持 つ。並んだ結果、「どこからどこまで列ができたのか」を表現するために、「(列などの)範囲」という意味も追 加された。 日本語の「アレンジ」(きちんと並べ、良くすることが由来)と同じ語源を持つ。 また、「どの順番 で並べるか」を言い争う様子から生まれた言葉「ランク」(階級)も同じ語源だ。
157	character	性格	car「ひっかく」という語源を持つ。 人の体に引っ掻かれた傷のように刻まれたものという由来で「性格」と 言う意味になった。
158	advantage	利点	アドバンテージ のこと。
159	phrase	句	短い文章のことを「 フレーズ 」という。
160	damage	損害	ダメージ のこと だ。日本語では主に身体的な「損害」をダメージと表現する。英語ではもっと広い意味での 「損害」のことを「ダメージ」と表現する。
161	impact	影響	主に「強い衝撃」という意味だ。 衝撃の結果という由来で「影響」という意味もある。テニスの「インパク ト」、ハンターハンターの「ビッグバン・インパクト」などと使われている。
162	method	方法	メソッド。
163	resource	〔通例～s〕資源	re「再び」、sur「上に」という語源を持つ。「何度も上に上がってくる」という意味だ。油田のように、噴き出して 止まらない様子から「資源」という意味になった。 source「吹き出る場所、すなわち源」、 surface「上の面と いう意味から、表面」と同じ語源を持つ。
164	region	地域	ポケモンの「ガラルの姿」「アローラの姿」などのように、 地域ごとにポケモンの見た目・タイプが変わること を「リージョンフォルム」という。 そのリージョンである。
165	medicine	薬	medi「治す」という語源を持つ。病気などを治すものという由来で「薬」という意味になった。 「メディカル」と 同じ語源を持つ。
166	detail	〔～s〕詳細(な情報)	de「完全に」、tail「バラバラに切る」という語源を持つ。布などの固まりをバラバラに切っていくことを、情報を 細分化して考えることに見立てたことが由来で「詳細」という意味になった。 細部にこだわることを「 ディティール 」にこだわる」と表現したりする。 ちなみに、 テイラースウィフトの「テイラー」 は、よく英語圏の姓として使われている。これは、もともと先祖が 「服の仕立て屋さん(布をバラバラに切る人)」という由来がある。 このテイラーと同じ語源を持つ。
167	feature	特徴	原義は「特別に目立っている部分」である。音楽でよく 「feat.」 という言葉がタイトルについてることがある。こ れは、このfeatureの動名詞形、featuringの略語である。特別ゲストとして呼ぶことを強調するためにつけら れる。
168	function	機能	ファンクション機能と唱えて覚えてください。
169	access	利用	日本語でも「情報に アクセス する」などと表現する。
170	item	品目	フランス語や英語では「書物の目次」や「請求書の内容」などリスト状の表を書く際、ある風習があった。そ れは、リスト状になっているひとつひとつの品目に対して、「item 1」、「item 2」、「item 3」のように、一番初 めにitemと書くことであった。その風習が由来で、「item」は品目、項目などの意味がついた。日本語では、 単に「物」を示す時に使う。
171	income	収入	in「中に」、come「来る」という語源を持つ。語源通りに訳すと「中に入ってくる」だ。 ふところに入ってくるもの という意味から、「収入」という意味になった。
172	attitude	態度	a(p)ti「適する」という語源を持つ。物事に対する適切な姿勢という由来で「態度」という意味になった。 adapt 「適合する」と同じ語源を持つ。
173	site	用地	site「置かれた場所」という語源を持つ。何かを置く場所という由来から「用地」という意味になった。 ウェブサ イト「web上の用地、つまりサイト」、シチュエーション「置かれた場所、つまり状況」と同じ語源を持つ。
174	aspect	(物事の)側面	a「～へ」、spec「見る」という語源を持つ。語源通りに訳すと「～の方を見る」という意味になる。何かの外観 を見ることから、「外観、物の側面」という意味になった。 respect「二度見するほど凄いいことから、尊敬す る」、expect「時間軸的に外側を見ることから、予期する」と同じ語源を持つ。
175	structure	構造	stro「組み立てる」という語源を守る。「組み立てられたものの内部」という由来で「構造」という意味になっ た。 destroy「組み立てたものをバラバラにすることから、壊す」、 construct「複数の材料を共に組み立 てることから、建築する」と同じ語源を持つ。
176	habit	習慣	have「持つ」を語源に持つ。 すでに持っているものという由来で、「(習慣)」という意味がある。 「大人の俺が言っちゃいけないこと言っちゃうけど説教するってぶっちゃけ快樂」の habitである。説教するの が快樂でクセになっている、習慣になっているのだ。
177	link	関連	別ページに飛べる青いテキストのことを、「 リンク 」と呼ぶ。
178	instance	(具体的な)例	要リサーチ
179	positive	肯定的な	「ポジティブ に考えよう」のポジティブだ。
180	negative	否定的な	「ネガティブ な人」のネガティブだ。
181	complex	複雑な	com「共に」、ple「折り重なる」という語源を持つ。いろんなものが折り重なるとごちゃごちゃになることから、 「複雑な」という意味になった。 シンプル(sim=ひとつだけ、ple=重なる という意味から「単純な」)と同じ 語源を持つ。
182	current	現在の	cur「流れる」という語源を持つ。時間が水の流れのようにサラサラと流れていく様子から「現在の(時間)」と いう意味になった。 currency(世の中で流れることから、通貨)と同じ語源を持つ。
183	mental	精神の	日本語でも使う「強靱なメンタル」「メンタルが弱い」の メンタル である。
184	specific	特定の	spec「見る」と言う語源を持つ。ぱっと見て人や物の特徴を掴み、「見分けができる」から「特定する」と いう意味になった。 scope「見える範囲」、 species「見た目が一緒のグループ、つまり(生物の)種」と同じ 語源を持つ。
185	significant	重要な	sign「印、サイン」という語源を持つ。「(本などに目立つように)印がついている」という由来から、「重要な」 という意味になった。 sign「サイン、署名」、デザイン「印がたくさんかいてあることから、設計図・デザイ ン」、resign「サインの一度目は入社時、二度目は辞表時という由来から、辞職する」と同じ語源を持つ。

186	essential	必要不可欠な	トリートメントのCMで、「 エッセンシャルオイル配合 」という謳い文句を聞いたことがあるだろう。髪にとって「必要不可欠な」油分を含んでいるという意味である。また、重要なものを抽出した物を「エッセンス」ということがある。これも、必要不可欠で「大切な物」という意味がある。
187	official	公用の	オフィシャル 。
188	financial	財政(上)の	fin「終わり」を語源に持つ 。 お金の収入、支出、いろいろ計算した結果(終わり)の数字という意味から、「最終的なお金の出入り」という意味になった。そこから、会社や国家のお金のお金の出入り(財政)を指すようになった。 finish「終わり」、final「最後の」と同じ語源を持つ 。
189	academic	学問の	僕のヒーローアカデミアの「アカデミア」の形容詞系 。
190	aware	気づいて	ware「知る」という語源を持つ。「学ぶ・知る」とは言い換えれば、新しい知識に「気づく」ということだ。 ソフトウェア「コンピューターを動かすための、知識の塊」と同じ語源を持つ 。
191	worth	に値する	有用な語源なし。eスポーツで、敵を複数倒してデスしたり、拠点確保してデスしたりなど、 「死んだことに価値があった」とみなされるとき「worth」とコメントされる 。LOLやAPEXなどで使う。
192	potential	潜在的な	日本語でも「高い ポテンシャル を持つ」などとと表現する。潜在的な、隠された力を秘めているという意味だ。
193	active	積極的な	日本語でも「 アクティブ 人」などと表現する。活動的で、何にでも積極的な人のことを示している。
194	digital	デジタル方式の	日本語の デジタル のことだ。
195	mobile	可動[移動]式の	「持ち運べる」という意味 だ。AUモバイル、楽天モバイルなど、日本語では主に携帯(持ち運べる)電話を意味している。
196	novel	斬新な	new「新しい」を語源に持つ 。語源そのままの意味である。日本語でノベルといえば「小説」だが、 小説は16世紀中盤に生まれた、比較的新しい文学だったので、「新しい」を意味する novelがそのまま使われた 。innovate「新しくすることから、革新する」、ノヴァ「新星」と同じ語源を持つ。
197	plastic	柔軟な	プラスチックのように、 ぐわんぐわん曲げることができる様子 から「柔軟な」という意味がある。
198	chemical	化学の	alchemy「錬金術」という語源を持つ 。鋼の錬金術師という神漫画の英語タイトルは、「フルメタル アルケミスト」という。この「アルケミスト」こそが、錬金術師を示す。今となっては、「何も無いところから金や鋼を作り出す」というのは絵空事であるが、昔は可能だと信じられていた。そこから科学が進化し、まるで錬金術師のように物体を変化させる様子から、「ケミカル」という名前になった。(「アル」の発音は長い年月を経て消えた)
199	necessary	必要な	ne「否定」、cess「行く、譲る」という語源を持つ。(なぜ譲るという意味があるかは、274, ancestorを参照)他の人に譲れないもの、手放したくないものという由来から、「必要な」という意味になった。access「行く、アクセスする」、process「前に行く過程」と同じ語源を持つ。
200	eventually	結局(は)	e「外に」、vent「来て現れる」という語源を持つ。event(イベント)というものは我々の前にサッと「出てきて現れる」出来事のことだ。昔は神主体で人生が決められると信じられていたので、どのイベントも運命的であり避けられないと思われていた。そんな eventの形容詞系なので、どうせ「結局は」将来「外にきて現れる」であろう出来事を示すようになった。
201	identify	を特定する	「アイデンティティ」は、その人だとわかる特徴を示す。この「 アイデンティティ 」の動詞形である「 アイデンティファイ 」は、 ある特徴を手掛かりにして、何かを特定することを指す 。
202	represent	を表す	「レベゼン地球」は「地球代表」と言う意味 。
203	indicate	を指し示す	in「中に」、dic「示す」という語源を持つ。相手の中に情報を示してあげることから「指し示す」という意味になった。 predict「前もって示すことから、予言する」、dictionary「いっぱい情報が示してあることから、辞書」と同じ語源を持つ 。
204	manage	なんとか成し遂げる	man「手」という語源を持つ。昔は馬を操る時、手綱がなかった。よって、馬の様子や筋肉の強張りを手で観察し、うまく操る必要があった。その由来から manage「手で何かを操縦すること、管理すること」が生まれた。日本語で使われている「 マネージャー 」も、タレントやグループを管理・監督する。管理・監督はかなりの注意力・労力を使うため、「(大変な仕事を)なんとか成し遂げる」という意味に派生した。
205	attend	に出席する	多義語。「出席する」「世話する」「注意を向ける」という3つの意味を持つ。全て語源から覚えられるから安心してほしい。 at「～に向けて」、tend「伸ばす」という語源をもつ。語源通りに訳すと「～に向けて伸ばす」である 。伸ばすのが足であればどこかへ「出席する」ことになるし、誰かへの注意や関心であれば「世話する」「注意を向ける」になる。
206	maintain	を維持する	mai「手」、tain「保持する」という語源を持つ。手でがっちり掴んで保持している様子から「維持する」という意味になった。 この単語の名詞形は「メンテナンス」 であり、性能を維持するために手を加えることである。contain「内容物を保持している様子から、含む」と同じ語源を持つ。
207	survey	を調査する	sur「上に」、vey(veoir)「見る」が語源。この veoir「見る」は video「ビデオ」と語源が同じ である。上から全体を見るという状況から調査するという意味になる。
208	replace	に取って代わる	re「再び」、place「置く」が語源。語源通り訳すと「再び置く」である。 もともと置いてあったものをどけて再び置くことから、「取って代わる」と言う意味になった 。 place「置かれた、場所」と同じ語源を持つ。
209	sort	を分類する	「ケーキアソート」 のソートと同じ語源を持つ。
210	conduct	を実施する	con「一緒に」、duct「導く」が語源。全体をまとめて一緒に導くことから、指揮する、何かを実施するという意味がある。
211	associate	を結び付けて考える	ad「～へ」、soci「結び付ける」という語源から成り、～に結び付ける、～に結び付けて考えるという意味になった。 social「社会」と同じ語源である 。
212	attempt	を試みる	at「～の方向に」、temp「伸ばす」という語源をもつ。205, attendのように、心がある方向に伸びていることから、「やってみようかな」と言う気持ちになる。この由来から「試みる」と言う意味になった。 temp「相手の心を伸びさせるという由来で、誘惑する」と同じ語源を持つ。
213	promote	を促進する	pro「前へ」、mote「動かす、モーター」と同じ語源を持つ。 「前へ動かそうとする」と言う由来から「促進する」と言う意味になった 。 motor「モーター」、move「動く」と同じ語源を持つ。
214	earn	を稼ぐ	有用な覚え方なし。「アーン稼ぐ」と唱える
215	unite	を団結させる	uni「1つ」という語源を持つ。 ひとつになることから、「団結する」という意味になった 。 universe「巨大な一つの塊という意味から、宇宙」と同じ語源を持つ。 ポケモンユナイトは、各チームのポケモンたちが団結しあって、エリアを確保していくゲームだ。
216	feed	に食べ物[乳]を与える	food「食べ物」を語源に持つ。語源通りで、食べ物を与えるという意味だ。 日本語の「フィードバック」とは、何かに熟練した人が訓練者の様子を見て、「どこが間違っているか、どうすればうまく行くか」を伝えることだ 。それがまるで「指導者が訓練者に餌を与えるように」行われることから、「フィード」という言葉が用いられた。
217	seek	を追いかめる	特に有用な語源を持たない。シーク求めると唱えて覚えてほしい。

218	observe	に気づく	ob「～の方向に」、serve「監視し維持する」という語源を持つ。
219	reveal	を明らかにする	re「反対に」、veal「覆う、ベールする」という語源を持つ。語源通り訳すと「 ベールを取る 」という意味だ。ベールとは、ウェディングドレスで顔を隠しているあの白い透き通った布である。「reveal」は、隠していたものをとることを意味する。
220	estimate	と推定する	estim「価値を判断する」という語源を持つ。価値を判断することから、「(価値を)推定する」という言い回しに変わっただけである。esteem「価値がわかったという意味から、尊敬する」と同じ語源を持つ。
221	reflect	を反映する	re「反対に」、flec「曲げる」という語源を持つ。語源通り訳すと「反対に曲げる」という意味になる。こっちにきた光を、鏡などで反対側に曲げ返す様子から「反射する」という意味になった。なぜ反映するという意味になったかという、「山や海などの景色が、太陽の光の差しかたによって変化する」という様子から、「あるものが別のものに影響を受けて現れるもの」という意味になり、「反映する」という言葉に至ったからだ。(日本語の「反映する」で辞書を引くと、「reflect」と同じような意味の変化を辿っていることがわかる。言語の共通性が見出される面白い単語だ。) flexible(曲がりやすく柔軟で、考えの融通が効く)と同じ語源を持つ。
222	attract	を引きつける	at「～の方向に」、trac「引く」という語源を持つ。「自分の方向に引く」という由来で、「引きつける、魅了する」という意味になった。 distract「自分の方に引かないことから、気を逸らす」、contract「お互いに譲らず引っ張り合う様子から、契約」と同じ語源を持つ。
223	decrease	減少する	de「否定」、cre「作る」という語源を持つ。2, increaseの対義語 だ。「増加する」の反対なので、「減少する」である。
224	ignore	を無視する	i「～しない」、gno「知る」という語源を持つ。語源通り訳をすると「知らない」である。知らないふりをする、つまり無視すると言う意味だ。Recognize(識別できる)と同じ語源を持つ。
225	match	合う	日本語でも、「相性がマッチする」や、「 マッチングアプリ 」などと使われている。
226	define	を定義する	de「下」、fin「終わり」という語源を持つ。語源通りに訳すと「下に終わり」だが、なぜ定義するという言葉になるのか。 前提として、言葉の意味というのは考え方によって無限の解釈が生まれる。例えば「階段」という言葉は「物理的な階段」を指し示すこともあれば、「超えるべき試練」、「人間的成長のための壁」など、いろいろな意味がある。これを無制限に続けてしまうと、「階段」という言葉に意味が増え過ぎてしまい、支障をきたす。そこで単語の「限界」を決める必要が出てくる。そこで活躍するのが「定義」だ。定義するとは、「この単語の意味はこれ」と指し示し、単語の限界を決めることである。defineはこの単語の「 境界線を引き、言葉の限界を決定する 」という意味で作られたため、「定義する」という意味になった。 finish「終わり」、infinite「終わりが無い、つまり無限」、final「最後」と同じ語源を持つ。
227	adapt	適応する	ad「～の方に」、ap「合わせる」という語源を持つ。語源通り訳すと「～に合わせる」と言う意味になる。何かに形を合わせるという由来から、「適応する」と言う意味になった。couple「相手に合わせることから、カップル」と同じ語源を持つ。
228	contribute	貢献する	con「共に」、trib「部族」と言う語源を持つ。ある部族が、より大きな部族の管理者に贈り物をする様子から「貢献する」と言う意味になった。 tribe「部族」、distribute「部族たちに援助を分け与えている様子から、分配する」と同じ語源を持つ。
229	exchange	交換する	ex「外に」、change「変える」という語源を持つ。語源通りに訳すと「外に変える」である。自分の持っているものを外に出し、相手ものと変える様子から「交換する」と言う意味になった。change「変える」と同じ語源を持つ。
230	display	を示す	テレビの ディスプレイ や、展示室のディスプレイはどちらも、何かの情報を示してくれるものだ。
231	respond	反応する	返事のことをネットでは「レス」という。レスはレスポンドの略である。
232	hide	を隠す	hi「覆う」を語源に持つ。何かを覆い隠すことから「隠す」という意味になった。身を隠す場所として「house」も同じ語源を持っている。
233	doubt	ではないと思う	「ダウト」というトランプゲームは、常に相手を疑い、嘘をついていると思ったら「ダウト!」と叫ぶゲームだ。
234	remove	を取り除く	re「後ろに」、move「動かす」と言う語源を持つ。後ろの方に動かして、見えないところに移動させている様子から「取り除く」と言う意味になった。 rear「後ろという意味から、おしり(丁寧な表現)」move「動く」と同じ語源を持つ。
235	wind	(ねじなど)を巻く	ウィンドは日本語でも「 風 」という意味で使う。基本的には「風」で問題ない。台風のように、 ぐるぐるぐる巻いている様子 から「ねじなどをぐるぐる巻く」という意味になった。
236	assume	を当然のことと思う	a「～の方向へ」、sume「取る」という語源を持つ。「何かの方向に手を伸ばし、取る」というのが最初の意味だった。ニュアンスとしては、「相手の着ている衣服を取り、自分のものとして使う」というようなマイナスな意味であった。実際に15世紀初頭には「傲慢な」という意味もあった。1590年代、初めて「議論の根拠としての証拠なしに当然と考える」という現代の訳になった。その間にどんな変化があったのか、筆者には想像がつかない…申し訳ない…。Presume「何かをやる前に、情報を手に取って推定する」と同じ語源を持つ。(ちなみに、presumeは「ある程度根拠があって決めつける」こと、assumeは「何の根拠もなしに決めつけること」という違いがある。)
237	relax	くつろぐ	日本語でもくつろぐことを、 リラックス すると表現する。
238	satisfy	を満足させる	satis「十分な」、fy「～にする」という語源を持つ。語源通り訳すと、「十分な状態にする」という意味だ。心や体を十分な状態にすることから、「満足させる」という意味になった。(余談。self satisfactionは自己満足という意味)
239	desire	を強く望む	de「～から」、sidus「星」という語源を持つ。語源通り訳すと「星から」という意味だ。流れ星に願っても叶えないという意味から、「強く望む」という意味になった。 consider「星をよく見る天文学者のように、考える」と同じ語源を持つ。
240	succeed	成功する	su「下に」、ceed「行く」という語源を持つ。語源通り訳すと「下に行く」という意味だ。これは年代が下の人、事業などを引き継いでいく様子を示している。(succeed inは引き継ぐという意味) proceed「前に行くことから、前進する」、exceed「外に行きすぎることから、超過する」と同じ語源を持つ。
241	concept	概念	con「強意」、cep「取る」という語源を持つ。語源通り訳すと「めっちゃ取る」という意味で、「何かをとって頭の中に考え方などを入れる様子から「概念、考え方」という意味になった。主軸になる考え方のことを、日本語でも「 コンセプト 」という。Capture「取ることから、捕まえる」と同じ語源を持つ。
242	fashion	流行	日本語でも、流行を取り入れた服や服装を「 ファッション 」と表現する。
243	device	装置	日本語でも、Iphoneやタブレットやパソコンなどの電子機器の装置を デバイス という。語源はdivi「分ける」であり、電子機器などがなかった時代はただ「分けることができるもの」だった。要するに加工できる装置全般を指していたのだ。それが時代の変化と共に、「特定の用途や目的に適合したもの」という意味をまとい、今の「デバイス」の意味になった。
244	charge	料金	日本語でよくつかう「チャージ」は、主にバッテリーを充電する時に使うものだろう。この電気という意味の「チャージ」が生まれたのは1750年からだ。それまでは「荷を積むこと」という意味だった。そこから、「 市民にとって重くのしかかってくる重荷・負担 」という意味で「料金」という意味に変異した。 スーパーやデパートで使うカート (cart)も同じ語源を持っていて、同じく重荷を負うことに由来する。

245	contrast	対照	contra「向かい合って、反対の」、st「立つ」という語源を持つ。2つのものが向かい合って立っていて、その様子を比べることを「対照」と表現する。(中学理科で習う対照実験の対照。)日本語でも、「AとBの コントラストが美しい 」とよくいう。 contrdict「反対のことを言うこと、つまり矛盾する」と同じ語源を持つ。
246	colleague	(職場の)同僚	要リサーチ co「一緒に」、lego「集める」という語源を持つ。
247	pain	苦痛	paine「キリストが受けた苦しみ」という語源を持つ。語源そのまま、苦痛という意味だ。 ペナルティ(苦しみで罪を償うこと、すなわち罰)、punish(苦しみで罪を償うこと、すなわち罰すること)と同じ語源を持つ。
248	bill	請求書	もともと「何か書かれた紙」という意味であった。(14世紀)そこから16世紀になり、「お金を払うことを記した紙」という意味になった。ちなみに諸説あるが、日本語の「 ピラ(広告などが書かれた紙)と同じ語源を持つ。
249	content	内容	con「共に」、tent「保持する」という語源を持つ。語源通り訳すと「共に保持する」という意味だ。何か空っぽの容器に物を入れて、内容物のおかげで容器の形を保持している様子から「内容」という意味になった。日本語でも内容のことを「 コンテンツ 」という。いわゆる tein 系の単語。Sustain「保持し続ける様子から、持続する」、maintain「維持する」と同じ語源を持つ。
250	section	部門	sect「切る」という語源を持つ。1つの塊を区切っていき、またひとつ、またひとつとグループが生まれていく様子から「部門」という意味になった。日本語でも、区切られた場所や部分などを「セクション」と表現する。 insect「体の中が頭、胴、胸の3つのセクションに分かれていることから、昆虫と同じ語源を持つ。
251	audience	聴衆	audi「聞く」という語源を持つ。何かを聴く人、つまり聴衆という意味である。日本語の オーディオ「聞くことから、音」と同じ語源を持つ。
252	surface	表面	surf「越える」、face「面」という語源を持つ。 物体の最も外側にある面という意味から「表面」という意味になった。 Super「何もかもを超えることから、超越した」、Face「面貸せよというように、面には顔という意味もあるので、顔」と同じ語源を持つ。
253	crop	作物	crop「作物」という語源を持つ。語源そのままの意味だ。諸君は後々世界史で習うと思うが、19世紀にアメリカで南北戦争が終わり、黒人奴隷制度が廃止された。廃止により黒人は解放されたけれども経済的に自立できず、黒人たちは困り果てていた。そんなときに「シェアクロッパー」(Sharecroppers)という制度が誕生した。文字だけ見ると、「作物をシェアすること」という意味だ。これは、地主が黒人らに土地と耕作道具を貸し出し、耕作させ、収穫高を地主に何割かあげるする制度だ。この制度は黒人に職を与えたが、毎回収穫高を地主に取られるため、結局貧困から抜け出すことはできなかった。
254	topic	話題	ニュースなどで、「話題」のことを「 トピック 」と表現する。
255	technique	技術	日本語でも技術のことを「 テクニク 」という。
256	status	地位	st「立つ」を語源に持つ。立っている場所、つまり「立場、地位」という意味になった。タワマンに住む理由は、景観などではなく大体これである。
257	option	選択	opto「選ぶ」を語源に持つ。「選ぶこと」、つまり「選択」という意味だ。日本語でも、ゲームの設定画面のことを「 オプション 」という。 音量や明るさなど、いろいろ選べるからだ。 adopt「人を選ぶことから、採用する」、opinion「人の選んだ考えというみから、意見」と同じ語源を持つ。
258	reward	報酬	re「後ろを」、ward「見る」という語源を持つ。「誰かの後ろ(背中)を見る」という意味である。これは、「頑張っている人の後ろ姿を見て、感銘を受け褒美を与える」という由来から「報酬」という意味になった。 Guard「見守ることから、護衛する」、award「(同じ由来で)授与する」という語源を持つ。
259	race	人種	「人種」という意味では、起源が不明。しかし、高校の時に先生から race「人種」の起源を聞いた。「陸上のレースのように、与えられたレーンで走り切ることで、与えられた人種で人生を生きていくことは似ている」という起源があるそう。調べたらこれ全部嘘でした。。。悲しい。。。とはいえ、覚えやすいので重宝している。
260	crime	罪	crey「ふるいにかける」を語源に持つ。裁判で「有罪か無罪か」のふるいにかけられる様子から、「罪」という意味になった。 ヒロアカに「ジェントル・クリミナル」という悪役が出てくるが、そいつは各地で罪を犯しまくっている。「ふるいにかける」とは簡単にいうと「分ける」ことだ。シークレット「他のものと分けられている様子から、秘密の」、コンサート「参加者をふるいにかけることから、競技会」と同じ語源を持つ。
261	conflict	争い	con「共に」、flick「打つ」を語源に持つ。共に体を打ち合う様子から「争い」という意味になった。 フリック入力のフリック「文字を打つ」と同じ語源を持つ。
262	struggle	闘い	語源不詳。 カバディで相手選手にタッチした時に「ストラグル！」 という。戦いが発生するという意味だ。(超マイナー知識で申し訳ない)詳しくは「熱血カバディ」で検索。(超おもしろい)
263	context	状況	con「共に」、text「文字」を語源に持つ。文字と文字を繋ぎ合わせて文章を作り、複数の文章との関わり合いの中で文の意味が一義に決まる様子から、文脈という意味になった。
264	debate	討論	de「離れて」、bate「打つ」という語源を持つ。近づいて殴り合うのではなく、ある程度離れたところから打つ(攻撃する)、つまり「口論する」という由来で、「討論する」という意味になった。論理的に相手を言います大会を「 ディベート大会 」といい、日本では甲子園まである。 野球のバット「打つもの」、バトル「打ち合うこと、つまり闘い」と同じ語源を持つ。
265	fuel	燃料	有用な語源はない。フューエル燃料と唱えて覚えて。。。
266	pollution	汚染	14世紀ではpollutionは「 セックス以外での精液の排出 」という意味で使われていた。キリスト教的に自慰行為はタブーなので、自分自身を汚す行為として扱われていた。
267	trend	傾向	流行のことを トレンド という。最近の「傾向」のことだ。
268	balance	均衡	バランス のことだ。「均衡」ともいう。
269	traffic	交通	trans「移動する」、fric「こすれる」という語源を持つ。 大勢の人々が道で行き交って、服が「シュ」「シュ」と擦れるようなことという意味から「交通」という意味になった。 トランスフォーマー「形が移動するように変形することから、変形する」friction「こすれることから、摩擦」と同じ語源を持つ。あと ボールペンの「フリクション」は摩擦で文字が消えることに由来する。
270	strategy	戦略	strat「軍隊」、agos「リーダー」という語源を持つ。「リーダーの考え」という由来で「戦略」という意味になった。(stratの由来はstr「伸ばす、広げる」だ。stratiは「軍隊をどう広げるか、どう配置するか」という由来をもつ。)ストレッチ「筋肉を伸ばすこと」と同じ語源を持つ。
271	basis	基礎	base「土台」という語源を持つ。土台となるものという意味から、「基礎」という意味になった。もともと「下にあって踏むもの」という意味があったことから、 野球の「ベース」 が生まれた。
272	consequence	結果	con「共に」、sequ「(時間的に)続く」、encef「物」と言う語源をもつ。「 時間的に後の方に続いてくるもの」という意味 から、「結果」と言う意味になった。sequence「続く、連続した」と同じ語源をもつ。
273	aim	目的	FPSゲームで、敵に銃の標準を合わせることを「 エイムを合わせる 」という。「目的」に向けて狙いを定めるのだ。
274	ancestor	祖先	ant「先の」、cess「行く、譲る」という語源を持つ。「 後世に道を譲る 」という由来から「祖先」と言う意味になった。process「前へ進むための、手順」、access「何かに向かって進むことから、接近する・アクセスする」と同じ語源を持つ。

275	gene	遺伝子	gene「生まれる」が語源。生まれた結果、遺伝子が子に引き継がれることに由来する。 generate「生み出す」と同じ語源を持つ。
276	track	跡	tract「引く」を語源に持つ。ものを引きずって運ぶと、 地面に跡ができていくことが由来で「跡」と言う意味になった。 えんぴつを持って紙に重さをかけると、線が描けることから「線を引く」と言う意味があり、日本語でも「トレースする」「トレバクする」などを使う。
277	revolution	革命	re「再び」、vol「回転」という語源を持つ。 政権をグルリとひっくり返してしまう様子 から、「革命」という意味になった。 リボルバー銃「弾倉が回転する方式の拳銃」 と同じ語源を持つ。「君のハートにレボリューション」のレボリューションだ。
278	progress	進歩	pro「～に向かって」、gress(grad)「歩く」が語源。前へ歩くことである。日本語のグレード(階級・等級)と同語源であり、一步一步昇進していく部分が共通している。
279	cognitive	認知の	co「共に」、gn「知る」という語源を持つ。原義は「知ること」だ。心理学者の間で使われ続けたことから、堅苦しく「認知の」という訳になった。 recognize「再び知ることから、認識する」 ignore「知らないふりをする ことから、無視する」、 know「知る」と同じ語源を持つ。
280	ideal	理想的な	「アイデア」とは、哲学者プラトンが作り出した考え方 である。アイデアとは、 心の目でしか見えない、理想の物 という意味だ。例えば、この世には完璧な円というものもは存在しない。必ずどこかが歪んだり欠けていたりしている。しかし、そんな不完全な円でも私たちはおよそ円だと認識することはできる。なぜ不完全な円を見ても、私たちは円と認識できるのか。それは、私たちが心の中に「完璧な理想の円」すなわちアイデアを持っているからである。このアイデアと現実世界の円を照らし合わせることで、およそ円だと認識できるのである。
281	efficient	効率的な	e「外に」、fici「作る」という語源を持つ。工場のように外にたくさんモノを作り出せるということから、「生産的な、効率的な」という意味になった。 factory「モノを作る場所、つまり工場」などと同じ語源を持つ。
282	universal	普遍的な	ユニバーサルスタジオ、ユニバーサルデザインのユニバーサルである。 universe(ユニバース)「全世界、宇宙」が語源。 全世界に共通したものという由来で「普遍的な」という訳が当てられた。 unit「ユニット、部隊」と同じ語源を持つ。
283	vast	莫大な	有用な覚え方なし。(余談だが、誰にとっても バストは大きい方がいい 。)
284	extra	追加の	ex「外の」という語源を持つ。 「外から1つ付け加えたもの」 という由来から「追加の」と言う意味になった。日本語の 「エキストラ」も「追加の人」と言う意味がある。
285	entire	全体の	inte「欠けていないまとまったもの」という語源を持つ。少しも欠けていないひとかたまりという意味から、「全体」という意味になった。数学のインテグラル「合計を求める、総和」と同じ語源を持つ。
286	familiar	精通している	「精通している」とは言い換えれば、「よく知っている」という意味。 同語源の単語として family「家族」がある。 家族のように、よく知っているという意味である。
287	obvious	明らかな	ob「～の上」、vi「道」という語源を持つ。 「道の上にあるように見やすい物」 という由来で、「明らかな、明白な」という意味になった。 via「道を通るという意味から、～経由で」、 vehicle「道进行走するものという意味から、乗り物」と同じ語源を持つ。
288	moral	道徳(上)の	「お年寄りに席を譲る」「約束を守る」など、法律では定められていないが人間関係を円滑に進めるための行動規範を モラル と呼ぶ。
289	ordinary	一般の	ord「規則正しい順序」という語源を持つ。 規則正しい順番の中にいる普通のもの という意味から、「一般の、普通の」という意味になった。 order「順番」、extraordinary「規則正しくないことから、異常な」と同じ語源を持つ。
290	equal	等しい	数学の「イコール」のことだ。
291	previous	以前の	pre「(時間的に)前の」、via「道」という語源を持つ。日本語でも「あ、そういえばこの前」というように、「前」というのは今より昔を表す。このように、 今より昔に通ってきた道という由来 から「以前の」という意味になった。via「通る道という意味から、～を経由して」、trivial「3つの道が交差する場所で行われる、婦人たちの井戸端会議」という由来から、取るに足らない・瑣末な」と同じ語源を持つ。
292	FALSE	間違った	fal「間違い」という語源を持つ。語源通り、「間違った」という意味だ。 テニスの「フォルト(サーブミス)」と同じ語源をもつ。 また、fail「失敗する」と同じ語源をもつ。ちなみに、falseにsがくっついた「falsies」という単語は、「 パッドが入ったブラ 」という意味がある。(判断を誤らせるものという由来がある。)
293	rare	まれな	日本語の「レア」のことだ。
294	legal	法律の	lect「選ぶ」という語源を持つ。法律の制定時、多くの法律案の中から「選ばれた」ものが施行されたという由来から、「法律の」という意味になった。筆者の最も好きな神ドラマ 「リーガルハイ」 は、法を扱う弁護士がハイテンションで裁判を勝ち抜いていくドラマだ。
295	independent	独立した	in「(否定)」、depend「頼る」という語源を持つ。 誰にも頼らないという意味 から、「独立する」と言う意味になった。 インディペンデンス・デイは、アメリカの独立記念日 を表す。
296	extreme	極端な	ex「外に」、ter「超える」という語源を持つ。外側に大きくはみ出したと言う由来で、「極端な」という意味になった。「エクストリーム」は、とてもすごいと言う文脈で日本語でも使われる。
297	actual	実際の	act「動く」を語源に持つ。死んでおらず、まだ動いていて活動中という意味から「実在の」「実際の」という意味になった。 アクティブ「よく動くことから、活動的な、積極的な」、 act「動くことから、行動、演技」、アクション「動くことから、行動」と同じ語源を持つ。
298	willing	いとわない	「いとわない」とは言い換えれば「やりたい、喜んでやる」である。とにかく、子供のようにやってみたくい様子を示す。 will「意志、～する予定だ」という語源を持つ。 固い意志を持って、「やりたい」と切実に願うことから、「いとわない」という訳になった。
299	urban	都市の	urb「都市」という語源を持つ。語源そのまま、都市のという意味だ。服のブランド urban research(アーバンリサーチ) は、都市のファッションを調査して、服を作っていることに由来する。 suburb「都市の下」という意味から、郊外」と同じ語源をもつ。
300	whereas	～する一方	where「どこ」、as「～と同じ」という語源を持つ。
301	predict	を予言[予測]する	pre「前に」、dict「言う」という語源を持つ。「前もって起こることを言う」ことを、日本語では予期すると表現した。 ディクテーション(言われたことを書き取る) contradict(反対のことを言うので、矛盾すると言う意味)と同じ語源を持つ。
302	examine	を調べる	ex「外に」、a(ct)「動く」という語源を持つ。家から外に出て動くという由来で、「調べる」という意味になった。act「動くことから、行動する」、actual「動けることから、実在する」と同じ語源を持つ。
303	trust	を信頼する	tru「堅い」という語源を持つ。「堅い」関係性という由来で「信頼する」という意味になった。 tree「堅いことから、木」、true「堅く動かない真実ということから、正しい」 と同じ語源を持つ。
304	stick	を動けなくする	日本語でスティックといえば「棒」だろう。 棒が地面に刺さって動けなくなっている様子 から「動けなくさせる」という意味になった。 ステッカー と同じ語源を持つ。
305	emerge	現れる	e「外に」、mer「沈める」が語源。沈んでいる状態からザパッと外に出てくるという意味で、「現れる」になった。 emergency「緊急事態」と同じ語源。

306	vary	さまざまである	この単語から生まれた語として、variety「変化に富むこと、多様性」がある。今では日本語でも、さまざまなテーマを扱う「 バラエティ番組 」がある。varietyとは、変化に富むさまざまなことという「vary」を語源に持っているのだ。
307	release	を放出する	釣った魚をすぐ返すことを「 キャッチ&リリース 」という。水に魚たちを「放出する」のだ。
308	divide	を分ける	di「2つに」、vid「分ける」という語源を持ち、「 2つに分ける 」という語源そのままの意味である。 individual 「それ以上分けることができないものという意味で、個人」と同じ語源を持つ。
309	enable	(人)が...できるようにする	en「 詰め込む 」、able「 できる 」という語源を持つ。人に、「できる」ということを詰め込むという由来から、「人に、何かをできるようにする」という意味になった。 enrich 「 リッチを詰め込むことから、豊かにする 」、ability「できるという意味から、能力」と同じ語源を持つ。
310	judge	判断する	jus「法律」という語源を持つ。法律やルールに従って考えることから「判断する」という意味になった。 サッカーやバスケの審判のことを「ジャッジ」と言ったりする。 just「法律を守ることから、正しい」、injure「正しくないという意味から、傷つける」、adjust「正しくするという意味で、調節する」と同じ語源を持つ。
311	rely	頼る	re「再び」、li「結ぶ」という語源を持つ。語源通り訳すと「何度も結ぶ」という意味だ。自分と相手をきつ結び結び様子から、「頼る」という意味になった。リーグ戦の「 リーグ(league) 」は「連盟」という意味で、「絆で結ばれたグループ」という由来を持っている。
312	engage	を従事させる	en「中に」、gage「誓い」という意味を持つ。「 相手の中に(自分への)誓いを入れる 」という意味だ。言い換えれば、自分に忠実にさせる、服従させるということだ。忠実にさせるという意味から「従事させる」「雇用する」というような意味が生まれた。 エンゲージリングとは結婚指輪のこと で、お互いに愛を誓い合うことが由来である。(決して女性差別的なニュアンスを含んでいないことを切に願う) wage「誓いに報いる、賃金」と同じ語源を持つ。
313	shift	を変える	日本語でも「考え方をシフトする」という風に、「変える」という意味で使う。 余談かもしれないが キーボードのシフトキー の由来を解説しよう。 シフトキーとは、主に英語の「大文字」「小文字」を切り替えるためキーのである。キーボードは、もともと「タイプライター」と言って文字を紙に写すための、インク式の機械だった。今のキーボード配置は、そのタイプライターに準拠している。 さて、当時タイプライターだった時代に「小文字が打てない」という難点があった。すべてが大文字で読みにくい記事ばかりなのだ。 その悩みを解消するために作られたのが「シフトキー」であった。このシフトキーを押せば打刻する文字を入れ替えることができ、「大文字」「小文字」の切り替えができたのだ。このようにして、「大文字小文字をシフトする」という由来から「シフトキー」と命名されたのであった。
314	adopt	を採用する	ad「～へ」、opt「選ぶ」という語源を持つ。何かの中から選ぶことから「採用する」という意味になった。 オプション (option)「選ぶという意味から、選択肢」、opinion「選ばれた考え、意見」と同じ語源をもつ。ちなみに、adapt「適応する」と発音同じでかつ、綴りもほぼ同じのヤバい単語。違いは、aかoかの違いだ。oの方は、「オー」という感じでaよりもなんとなく声が低い。声が低いから大人っぽく、信頼できることから「採用したくなる」。一方で、声が高いaの方は、何にでも器用にこなしてしまう適応力の高さがあろうだ。だから適応するなのだ。
315	acquire	を得る	ac「～へ」、quire「探し求める」という語源を持つ。探し求めて何かを「得る」という意味になった。 クエスト(quest)「探し求めること」、require「何度も求めることから、要求する」と同じ語源を持つ。
316	expand	拡大する	ex「外に」、pand「広げる」という語源を持つ。 この「pand」は、 薄く広げられた皿状のものという意味 があり、実は フライパンの「パン」 である。
317	refuse	を拒む	re「もう一度」、fuse「注ぐ」という語源があり、「再び注ぐ」という意味がある。しかし再び注ぐことがなぜ拒むことになるのか不明。。。筆者の解釈であるが、知識などを頭に注いだ後、不快なものだったので別の容器に注ぎ返したという意味だろう。resign(退職する)も、1度目は入社時の署名、再び署名するときは離職するときというような意味であるため、似たようなものを感じる。
318	strike	の心を打つ	心を打つなんて言葉、使ったことないんですが、、、基本的に、日本語の ストライク は「強くぶつかる」です。モンスターの「ストライクショット」しかり、ボウリングの「ストライク」しかりです。
319	repeat	繰り返す	re「再び」、pet「求める」という語源を持つ。何度も求める様子から、繰り返すという意味になった。 compete(共に一つのものを求め戦う競争) と同じ語源をもつ。
320	consume	を消費する	con「完全に」、sume「取る」という語源を持つ。完全に取るという意味から、「消費」という意味。
321	confuse	を混同する	conは「共に」、fuseは「注ぐ」という語源があり、頭の中に物事を色々注ぎ込んでしまっって「混同する」という意味になった。(ドラゴンボールのフュージョンも同語源)
322	select	を選ぶ	日本語でも、セレクト「選ぶ」で使う。 セレクトショップ は、さまざまなブランドの物を、店員の好みで選りすぐって取り揃えているショップのことだ。
323	evolve	発展する	e「外へ」、volve「回転、ぐるぐる巻く」という語源を持つ。語源通り訳すと、「ぐるぐる巻いた物を外へ出す」という意味だ。これは、自分の中で溜めたパワーを外にバツと出す様子から「進化する」という意味にあった。日本語の「 リボルバー拳銃 」(ぐるぐると回転して球を装填する仕組みの銃)、 ボルト (ネジをぐるぐる巻くための部品)と同じ語源を持つ。
324	convince	を納得[確信]させる	con「完全に」、vince「打ち勝つ」が語源で議論に打ち勝つ様子から納得させるという意味になる。ここのvinceは victory勝利 と同じ語源であり同義語と考えてよい。
325	recall	を思い出す	re「再び」、call「呼ぶ」という語源を持つ。語源通り訳すと「何度も呼ぶこと」だ。記憶などを再び呼び戻す様子から、「思い出す」という意味になった。 call「呼ぶ」と同じ語源を持つ。
326	destroy	を破壊する	デストロイヤー (破壊する者)の動詞形。
327	preserve	を保存する	pre「前」serve「サービスする、提供する」、 商品や食事などをサービスする前の状態 を指す。 実は、ピアノの「オルガン」が語源である。 オルガンのように細かい部品たちが整然と並んでいることから、「きれいに整えること」という意味になった。 「きれいに整っていることから、「(パーティなどのために席や食事などをきれいに)準備する」、「整理する」、「(人や物をきれいに並べて)組織する」という意味に変化した。 オーガズム 「オルガンを弾くようにリズムミカルに体が振動する様子から、性的絶頂を迎えること」と同じ語源をもつ。
328	organize	を準備する	wer「(注意して)見る」という語源を持つ。注意を惹き見させることから「警告する」という意味になった。 guard 「注意して見張ることから、守る・ガード」、aware「注意を持つことから、気づく」と同じ語源をもつ。
329	warn	警告する	ad「～に向けて」、dres「まっすぐにする」という語源を持つ。 何か曲がった物を、真っ直ぐにただす様子から、「(問題などに)対処する」という意味 になった。メールアドレスは「Eメールの住所」という意味を持つ。メールや手紙を相手方に対してまっすぐ届ける様子から「住所」という意味になった。 ドレス 「着るとビシッとする様子から、ドレス」、 ドレッシング 「味を整える(まっすぐにする)から、ドレッシング」と同じ語源を持つ。
330	address	に対処する	語源はopus「仕事、作業」である。 医療用語の「オペ」 はoperation「操作、手術」の略である。音楽のopera「オペラ」と同じ語源を持つ。
331	operate	を操作する	part「一部」+ cipate「仲間に加わること」が語源。仲間になることから、参加するという意味になった。 バイトのことを「パート」 と呼ぶことがあるが、これはフルタイムではなく一部の時間だけ勤務することに由来する。
332	participate	参加する	

333	surround	を取り巻く	語源的なつながりはないが、「 around (周り) 」と読み方も綴りも意味も最高に似ている。
334	flow	流れる	flow「流れる」が語源。「 風呂の水が流れる 」と唱えて覚えられる。プログラミングの処理の流れを示した図をフローチャートと呼ぶ。 ラップのフロー は、「流れる水のように、どれだけ聴き心地良くラップできるか」という評価指標である。
335	bore	(人)を退屈させる	「bore」(穴)が語源。時間的に穴が開いている様子から、退屈させるという意味になった。 実は「bore」を動名詞にすると、理科で習う「ボーリング」(地層を調べるために穴を掘る作業)になる。
336	complain	不平[苦情]を言う	com(強調)、plango(嘆き悲しむ)が語源である。嘆き悲しむ様子から、不平を言うという意味になった。 plague(嘆き悲しむ様子から、疫病) と同じ語源を持つ。
337	host	を主催する	host「客をもてなす人」という語源を持つ。客をもてなす様子から、「主催する」という意味になった。留学先で住まいを提供してくれる家のことを「 ホストファミリー 」という。日本語の「 ホスト 」も、 女性を店に呼んでもてなすことが由来 である。
338	combine	を(〜と)結び付ける	「コンビネーション」の動詞系。 何かを結びつける、組み合わせることである。
339	extend	を伸ばす	ex「外に」、tend「伸ばす」という語源を持つ。語源通り、「外側に伸ばしていくこと」だ。 テンション 「普段緩んでいる心の線がピンと張る様子から、興奮」、 テント 「針金を組んで伸ばして柱にする様子から、テント」と同じ語源を持つ。
340	appreciate	を正當に評価する	アプリシエイトと読む。AppstoreやgooglePlayStoreを思い浮かべながら、「アプリの評価」と唱えれば一発で覚えられる。
341	target	目標; 的	日本語でも、「今回のターゲットはあいつだ」などと使う。
342	element	要素	もともと、世界中に存在する物質の根源「火」「地」「水」「風」を意味していた。ここから、物事のベースになるものという解釈が生まれ、「基本、地盤、土台」というような重要なものという意味になった。その結果、何かの塊を構成している1つ1つの「要素」という意味が生まれた。また、同じ語源を持つ「 エレメンタリースクール 」(小学校)は、基礎的なことを学ぶ場所という由来がある。
343	principle	原則	prim「1番目の」という語源を持つ。「第一の基礎原理」という意味だ。Principal(主要な)と酷似している。見分けかたは、最後が ple になっているかどうかだ。Pleなら原理、Palなら主要なである。受験時代は「ブルブル原理」と唱えて覚えた。 プリンス (王子)、 prime 「最も重要な」と同じ語源を持つ。
344	phenomenon	現象	phe(fan)「外観」という語源を持つ。徐々に外観がはっきり見えてきて確認できるもののことを「現象」と呼ぶようになったことが由来である。ファイナルファンタジーの ファンタジー と同じ語源を持つ。
345	atmosphere	大気; 雰囲気	atmo「蒸気」、sphere「球」という語源をもつ。 地球全体を包み込む球状の蒸気という意味 から、「大気」という意味になった。また、 自分を取り囲む気 という意味から、「雰囲気」という意味を持つ。sphere「球、地球儀」と同じ語源を持つ。
346	origin	起源	オリジン弁当のオリジン。 この単語を形容詞にすると、original「オリジナル」 である。
347	personality	個性	person「人」のality「こと」である。人のことという意味から、個性という意味になった。
348	capacity	(最大)容量	キャパオーバー という日本語があるが、これは capacity「容量」がover「超えた」の略である。あとイベント会場の最大収容人数のことも「 キャパ 」という。
349	profit	利益	pro「前へ」、fit「作る」という意味。(会社などが)前へ進むために作り出すものという意味から、「利益」という日本語訳がついた。Factory「モノを作る場所、つまり工場」と同じ語源を持つ。
350	circumstance	状況	cir「円」sta「立つ」という語源を持つ。「 自分を中心として周りに立っている物事 」というメッセージから「状況」という日本語訳になった。Circle「輪っか」、circulation「回り回る循環」、stand「立つ」などと同じ語源を持つ。
351	manner	作法	マナー。
352	threat	脅威	スレットと読む。スレット脅威と唱えて覚える。
353	resident	居住者	re「再び」sid(sit)「座る」という語源を持つ。土地にどかつと何度も座る様子から、「住む人、居住者」という意味になった。マンション名に レジデンス とついていることが多い。ちなみに、英語で大統領のことを「プレジデント」(president)というが、これは pre「前に」sid「座る」を語源に持ち、人の前にどっかり座る様子に由来する。
354	wealth	富	well「良い」を語源にもつ。 人生を良くするものという由来から、「富」という意味になった。
355	institution	機関	in「中に」st「立つ」という語源を持つ。建物の中に立つものという意味から、機関という意味になった。また、人の中に立つものという意味から「慣習」という意味も持つ。 stand「立つ」、ディスタント(distant) 「離れて立つことから、離れて」と同じ語源を持つ。
356	authority	当局; 権威	author「著者」という語源をもつ。 著者というニュアンスから、「偉い、権威」という意味を帯びた。
357	vote	投票	vote「捧げる」という語源を持つ。その人に一票を捧げる様子から、「投票」という意味になった。 devote 「めっちゃ捧げる様子から、捧げる」と同じ語源を持つ。
358	sight	光景	sight「見ること」を語源にもつ。何かを見ることから、「景色、光景」という意味になった。 insight 「中を見ることから、洞察力」、 sight-seeing 「景色を見ることから、観光」と同じ語源を持つ。
359	campaign	運動	日本語の「 キャンペーン 」は、人々にある行動を促すために行う(社会的)運動のことだ。それと全く同じである。
360	fund	基金	fund(found)は「基礎」という意味があり、事業の経済的基盤となる財産・資本を示す。
361	web	ウェブ	もともと網目状のものという意味を持ち、それを連想して蜘蛛の巣という意味にもなった。ネットは網目状に情報の伝達が行われるため、ウェブという意味になった。ちなみに 「weave」織ると同語源。
362	symbol	象徴	日本語でも、何かの象徴のことを「シンボル」と言う。
363	analysis	分析(結果)	アナリシスと読む。日本語でも 経済アナリスト などというように、分析することをいう。
364	version	(本などの)版	日本語でもDVDなどの「版」を バージョン という。
365	perspective	観点	per「隅ずみを」、spective(specio)「見ている」が語源。見通すという意味の prospectと同じ語源を持つ。(要リサーチ)
366	crisis	危機	cri「ふるいにかける」が語源である。人の生命がふるいにかけられるような、重大な危機という意味である。 criterion 「良いことと悪いことをふるいにかけるものという意味から、判断基準」、 criticize (良いモノを悪いモノを見分けることから、批評する)と同じ語源をもつ。
367	disaster	災害	dis「離れて」、astr「星」という語源を持つ。 「星がいつもの位置から離れていて、なんか酷いことが起こる気がする」という語源から、人類にとって悪いこと全般(不幸や災害や大惨事)という意味になった。 Asteroid(小惑星)、astronomy(星を見ることから、天文学) と同じ語源を持つ。

368	lecture	講義	lec「読む」という語源を持つ。本を読みながら先生に教えてもらうことから、「講義」という意味になった。 college「読むところ、すなわち大学」、legend「読み継がれる物語、すなわち伝説」 と同じ語源を持つ。日本語でも講義のことを「 レクチャー 」と呼ぶ。
369	psychology	心理学	psycho「心理」、logy「書く、学ぶ」と言う語源を持つ。 サイコパス は、psycho「心理」、pass「上」という由来を持っていて、常人の心理の上をいくような、狂った心理という意味だ。そのサイコである。
370	gender	(社会的・文化的)性	gen「産む」 がコアの語源である。産んだ結果、性別がわかる。 gene(遺伝子)、generate(生み出す) と同じ語源。
371	custom	(社会的な)慣習	「習慣づいたこと」というのがコアの意味だ。この customに「er」がつくと、日本語でも馴染み深い「 カスタマー 」になる。カスタマー(customer)「顧客」は、 まるで習慣のようにお店に来ること に由来する。
372	court	裁判所	もともと「囲われた場所」と言う意味だ。 テニスコート、サッカーコート の「コート」は、柵で囲われた場所という場所という由来がある。壁に囲われた場所と言うことから、「宮廷、裁判所」という意味が生み出された。
373	desert	砂漠	日本語の「デザート」は、ほぼ間違いなく甘い類の食べ物のことだ。その甘いものの綴りは、「dessert」だ。めちゃくちゃよく似ているので、注意して読まなければよく間違える。覚え方を説明しよう。甘いものの方は、砂漠よりもsが一個多い。甘い物は多ければ多いほど嬉しい美味しいからだ。 sが一個しかない味気ない殺風景なものの方は、「砂漠」 である。
374	soil	土地	sol「土」を語源に持つ。土のある場所、つまり土地という意味だ。 スニーカーの「ソール」は、「土に触れる場所」という語源を持つ。
375	agriculture	農業	agr「田畑」、culture「耕す」という語源を持つ。田畑を耕すことから、農業という訳語になった。 agrは土地や田畑の面積の単位である「 エーカー 」と同じ語源を持つ。 culture は基本的に「文化」であるが、 田畑を耕して食が安定してから文字や技術などの「文明、文化」が生まれたことに由来 している。
376	fossil	化石	foss「掘る」という語源を持つ。掘って出てくるものという由来で「化石」という意味になった。 フォッサマグナ 「(掘ったような)大きな溝」と同じ語源を持つ。
377	document	(公)文書	日本語でも、PCのよく使うファイル名に「 ドキュメント 」がある。エクセルやワードで作った文章をぶち込む場所である。
378	vocabulary	語彙	日本語でも語彙力のことを「 ボキャブラリー 」という。ボキャブラリーに乏しい人のことをボキャ貧という。
379	intelligent	聡明な	日本語の「 インテリ 」の元の単語 だ。
380	conscious	意識して	con「完全」に、scio「知る」という語源を持つ。語源通り訳すと「完全に知る」だ。いろいろな物事を認識して知ることを指す。
381	capable	能力がある	このcaplには、「取る」という意味があり、ableには～できるという意味がある。「取れる」という意味から、技術などを取得できるという意味に容容していった。
382	accurate	正確な	cureには「氣にかける」という意味がある。 細部を氣にかけること という由来で「正確な」という訳になった。 cure「治療する」 と同じ語源。
383	fundamental	基本的な	fund(found)「基礎」という語源を持つ。語源そのまま、「基礎的な、基本的な」という意味になる。 fund(会社の基礎となる資金)、ファンデーション(化粧ノリを良くするために、最初に塗る化粧品) と同じ語源を持つ。
384	artificial	人工の	芸術を意味する「 アート 」の 形容詞系 である。「人が作ったもの」がもともとの意味だ。人が作ったものであるから、「人工の」「芸術の」「技術の」という意味が生まれた。
385	firm	確固たる	firm「固い」が語源である。語源そのまま意味になっている。「会社」という訳が存在する理由は、「個人間の取引をもっと硬く、確実なものにするために文書にサインした住所」という使われかたがあったからである。(住所をお互いに明らかにすれば、バックれられることはないので、取引はより確実なものになる。) confirm (自分の中の考えを固めるために、確認する)と同じ語源を持つ。
386	overall	総合的な	over「～を超えて」、all「すべて」で構成されている。「ゼーんぶ」というニュアンスで「総合的な」という意味になった。
387	rural	田舎の	有用な語源なし。「ルーラル田舎の」と唱える。
388	military	軍の	有力な説として、 ミリオン「千」と同じ語源 だ。戦争で何千人もの人々を率いることから「軍の」という意味になった。日本語でも「ミリタリ系のファッション」などのように使用する。
389	nuclear	核の	nux「木の実」を語源に持つ 。ビーナッツのように、外側が何か硬い殻に覆われ、内側に大事なものがある様子から、「核の」という意味になった。「ナッツ」と同じ語源を持つ。
390	biological	生物学(上)の	bio「生物」、log「話す」と言う語源を持つ。語源をそのまま訳すると「生物について話す」という意味。古代ギリシア時代は神の書物より口頭による教育がスタンダードであった。当時生物についてあれこれ話すことを、生物学と呼んでいたことが由来である。 zoology「動物学」、geology「地質学」 と同じ語源を持つ。
391	constant	絶え間ない(人・事態などが)厳しい	con「共に」、st「立つ」という語源を持つ。共に肩を組んで立ち、がっしりと安定した様子を指す。この「安定した」と言う言葉から、「安定して一定のペースで成果を生み出すモノ」として「恒常的な、絶え間ない」という訳になった。日本語の「 コンスタント 」にも「絶え間ない」というニュアンスがある。stand「立つ」と同じ語源を持つ。
392	severe		日本語でもゲームやスポーツなどで、「 判定がシビア 」など表現する。厳しい、タイトだと言う意味だ。
393	visual	視覚の	vis「見る」が語源である。目で見える「視覚」という意味だ。「 ビジュアル系バンド 」とは、見た目目に気を配っていることに由来する。
394	enormous	莫大な	e「外に」、norm「規則」と言う語源を持つ。語源通り訳すと、「規則の外側」という意味だ。規則に従ったような普通なものではなく、常識から外れたような莫大なものという意味である。 normal(ノーマル)「規則を守るので、普通」 と同じ語源をもつ。
395	convenient	便利な	「 コンビニエンス 」の形容詞系。
396	domestic	家庭の	「 DV 」は「 ドメスティック・バイオレンス 」の略語であり、「 家庭内暴力 」という意味 である。
397	mass	大規模な	マスメディア 「テレビやラジオ新聞などの、大規模な大衆に向けた情報発信手段」と同じ語源をもつ。運動会の「 マスゲーム 」は、大規模な人数が参加する組体操である。
398	typical	典型的な	type「型」という語源を持つ。型にはまった、典型的なものという意味だ。ポケモンの「タイプ」と同じ由来である。
399	overseas	海外へ	overは～を超える、seaは海であり、「 海を超える 」という意味になる
400	nevertheless	それにもかかわらず	「それにもかかわらず」とは、「今私はすごいことを言ったけど、次言うこともすごいぞ!」という意味の接続詞である。 例えば、「彼は重傷を負っていたにも関わらず、私を助けてくれた」という文では、重傷を負うことももちろん凄いことだが、「助けた」という事実はずっとすごいぞ!と言っているのだ。 そこで、Neverthelessの語源を見るとnever「決して～ない」、the「それ」、less「少ない」で構成されている。語源通りに訳すならば、「 それは決して少くない 」 という意味だ。 つまり、前述した「その」重傷を負ったという言説は全く「小さな」ものではないが、もっとすごいことに彼は私を助けたという意味になる。